豊田ホタルの里ミュージアム研究報告書 第 12 号 : 1-37 頁 , 2020 年 3 月
Bull. Firefly Museum of Toyota Town. (12): 1-37, Mar. 2020

下関市豊浦町の陸産・淡水産貝類

増野和幸・川野敬介

豊田ホタルの里ミュージアム , 〒 750-0441 山口県下関市豊田町大字中村 50-3

Land and fresh water mollusks of Toyoura Town, Shimonoseki City, Yamaguchi Prefecture, Japan

Kazuyuki MASHINO and Keisuke KAWANO

The Firefly Museum of Toyota Town, Nakamura 50-3, Toyota, Shimonoseki, Yamaguchi Pref., 750-0441 Japan

Abstract: A total of 77 species extant land and freshwater mollusks were observed in Toyoura , Shimonoseki City from June, 2017 to September 2019. Fifty-one land molluscan species including *Japonia sadoensis* Pilsbry & Hirase, 1903, *Parakaliella ruida* (Pilsbry, 1901) and 26 of freshwater molluscan species including *Polypylis hemisphaerula* (Benson, 1842), *Inversiunio reiniana yanagawaensis* (Kondo, 1982) were briefly described.

キーワード：陸産貝類 , 淡水産貝類 , 非海産貝類 , 下関市 , 豊浦町
Key words: land mollusk, freshwater mollusk, non-marine mollusk, Shimonoseki-city, Toyoura-town

はじめに

山口県下関市豊浦町は，本州西端に位置し，面積は約 78 km^2 で，その大部分は山地と小河川の流域に狭い沖積平野が広がる．町内は東北部に狗留孫山（616 m）・元山（394 m），東部に権現山（375 m）・笠ケ岳（386m），東南部に鬼ケ城（619 m）の山地を擁し，西側に向かってなだらかな小丘陵地が響灘に面している．東部には山地部を源流とする小河川があり，また溜池も多数みられる．気候は日本海側に属し，冬季に冬の季節風が卓越するが対馬暖流の影響を受けて積雪は比較的少ない．北部を下関市豊北町，東部に下関市豊田町・菊川町，南部に旧下関市吉母地域と接している（豊浦町 , 1979）.

現在の下関市は，2005 年 2 月 13 日に旧下関市，菊川町，豊田町，豊浦町および豊北町の 5 市町が合併して県下第 3 位の面積に広がった．下関市の地域ごとの陸・淡水産貝類調査は，過去において旧下関市（河本 , 1964; 増野 , 1990a），豊北町（藤原 , 1970; 増野 , 1992a; 山下・福田 , 1996; 増野・川野 , 2018）および豊田町（増野・川野 , 2017）などに見られるが，いずれも島嶼部や海岸部に限られたものである．『豊浦町史』（豊浦町 , 1979），『豊浦町史二』（豊浦町 , 1982）の中には「自然編」として「位置と地理的性格」及び「シダ植物」について記述はあるものの，貝類に関する記述はみられない．山口県立山口博物館が刊行した『山口県産貝類目録』（1956）の中に〝豊浦郡〟の産地表記で，ヒメカニモリ *Rhinoclavis sordidula* (Gould, 1849)，ホネガイ *Murex pecten* Lightfoot, 1786 など海産種 5 種，ナガトギセル *Zaptyx subaurantiaea* (Pilsbry, 1900) の陸産 1 種の記録がある．また，県立山口博物館が企画した貝類展開催に併せて刊行した『概説 山口県の貝類』（1992）では，「日本海産海生，汽水生貝類」の項に次のような記述がある．「豊浦郡豊浦町室津下から黒井にかけて広がる湾とそこに流れ注ぐ黒井川によって形成される地形が，岩礁生貝類の採集に適する」．そして，同場所からイソシジミ *Nuttalloa japonica* (Reeve, 1857)，ハザクラ *Psammotaea minor* (Deshayes,

1855) など海産 4 種の名前をあげている．また，Hori *et al.*（1997）は，町内黒井川河口で危急種レンズヒラマキガイ（＝クルマヒラマキガイ）*Hippeutis cantori* (Benson, 1850) とともに淡水産のヒラマキミズマイマイ *Gyraulus chinensis spirillus* (Gould, 1859)，カワザンショウガイ *Assiminea lutea japonica* Martens, 1877，ヒメモノアラガイ *Fossaria ollula* (Gould, 1859)，サカマキガイ *Physa acuta* Draparnand, 1805 の採集を報告している．

このように過去にみられる記録は海産種が主で，陸・淡水産貝類相に関して豊浦町内での詳細を知ることはできない．そこで，本報告では旧豊田町（増野・川野 , 2017），旧豊北町（増野・川野 , 2018）の陸産・淡水産貝類に続いて豊浦町の調査を行った．本調査はおおむね 2018 年に実施したものであるが，過去に採集された標本個体も記録として考慮した．

この調査結果は，県内および市内各地域の非海産貝類相把握の基礎資料として役立つものと考える．

調査地および方法

現地調査（2017 ～ 2019 年）に加えて過去の記録（文献）および豊田ホタルの里ミュージアム収蔵標本，筆者らの所有する記録を基に，豊浦町の陸産・淡水産貝類の生息状況をまとめた．文献での記録は，一般に公表されている分布記録が掲載された論文や記載論文を対象とした．標本調査は現地調査により得られた標本，豊田ホタルの里ミュージアムの収蔵標本および筆者らが所有している過去の記録情報を対象に行った．過去における個人等の記録については，報告論文に記録された情報および直接，本人から提供のあったものも採用した．現地調査では目視確認した個体を直接採取するほかに，微小種は落葉下の土壌を篩にかけ持ち帰り，顕微鏡下でピンセットを用いて採取した．なお，標本の同定は基本的に増野が行い，確認同定を矢野重文氏にお願いした．

標本は，豊田ホタルの里ミュージアム貝類資料として保管する．

豊浦町の陸産・淡水産貝類の分布記録

本調査により得られた陸産･淡水産貝類を以下に一覧にした．種毎に**【記録】**及び**【備考】**を加えた．**【記録】**は本調査で確認された生息地名，日付（採集日 yyyy. mm. dd），個体数，採集者の順に示した．採集者については氏名を記したが，特別に明記のないものは筆者らが記録したものである．生息地名は“山口県下関市豊浦町”を省略し，それ以下の地名および場所を記載した．個体数は，標本として収蔵している個体数で，幼体・成体の区別はしていない．また，採集時の生死についての記録は取っていない．**【備考】**には形態や生態，および注目すべき特徴などについて解説した．また，各種学名の後に陸産または淡水産を表示してわかりやすくした．

学名および配列は基本的には湊・増田（1998）『日本野生生物目録（44）, 軟体動物』を参考にしたが，陸産については，湊（1988）『日本陸産貝類総目録』，淡水産貝類については，波部（1990）『日本産非海産水棲貝類目録』も参考にした．

調査結果

本調査で，生貝または死殻により陸産 15 科 51 種，淡水産 14 科 26 種を確認した．そのうち 18 種は環境省のレッドリスト（環境省 , 2019; 以下環境省 RDB），10 種はレッドデータブックやまぐち（山口県環境生活部自然保護課 , 2019; 以下山口県 RDB）の掲載種であった．また，陸産貝類では 3 種の外来種（トクサオカチョウジガイ，オオクビキレガイ，チャコウラナメクジ），淡水産貝類では 4 種（サカマキガイ，

コシダカヒメモノアラガイ，ハブタエモノアラガイ，タイワンシジミ）を確認した．

陸産･淡水産合わせて 77 種を確認した．これは過去に報告のある県内他地域, 例えば旧美祢郡（秋芳町･美東町）の 84 種（増野 , 1989），旧川上村の 59 種（河上ら , 1990），旧豊田町の 77 種（増野・川野 , 2017），旧豊北町の 82 種と比較しても，決して少ない種数ではない．美祢や川上地域が，一般に陸産貝が多産するとされる石灰岩地帯（黒田・波部 , 1949; 湊 , 1980）であることを考えても，西方が響灘に面し，東と北に比較的急斜面の山地に囲まれた小規模な平野に広がる豊浦町の今回の調査結果は，陸・淡水産貝類相の現況を反映したものと言える．

なお，今回の調査では小河川の河口や淡水の影響のある汽水域に生息する種も淡水産として含めた．以下に本調査での全 77 種の確認地および生息状況などについて記す．

腹足綱 Class Gastropoda

アマオブネガイ目 Order Cycloneritimorpha

アマオブネガイ科 Family Neritidae

1. イシマキガイ *Chithon retropictum* (Martens, 1879)（図版 I- 1a- c）（淡水産）

【記　　録】室津下室津 , 2018-V-21, 5exs.; 室津下甲山西龍宮英彦不動院入口（用水路）, 2018-VI-21, 3exs.; 吉永野田（用水路）, 2018-VII-23, 6exs.; 川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 2exs.; 川棚葉中Ｂ , 2018-VIII-3, 4exs.; 川棚川棚川河口 , 2018-VIII-22, 3exs.; 川棚中下（水田用水路）, 2018-VIII-22, 1ex.; 黒井郷杜屋 , 2019-3-18, 1ex.; 吉永野田（用水路）, 2019-V-15, 3exs..

【備　　考】殻径 10 ～ 20 mm の半球状で，殻頂部が侵食により欠損している個体が多い．殻表面は緑褐色の殻皮で覆われ，細かい三角形の斑紋模様がある．石灰質の蓋をもつ．塩分を含む汽水域から純淡水域の岩礫上に生息し, 川の堰などでは高い密度で観察される．礫表面に灰白色のごま粒状の卵嚢を生み付け，孵化した幼生は一旦河口を下り，海水に接した後河川を遡り生活する．最近では飼育用水槽の掃除屋として，ペットショップなどで販売されている．豊浦町では各河川の河口部から数百 m 遡った用水路でも観察できた．

2. カノコガイ *Clithon sowerbianus* Récluz, 1842（図版 I- 2a- c）（淡水産）

【記　　録】涌田後地マリンピア黒井跡地 , 2018-XI-21, 2exs..

【備　　考】殻径，殻高とも 10 mm 前後の球形をし，前種に似るが殻の侵食は少ない．殻表面は弱い光沢があり，三角形，帯状，斑状などの模様がある．石灰質の蓋をもつ．河口や周辺のコンクリート壁や水路の感潮・汽水域に生息する．河川の遡上行動は見られない．豊浦町内では涌田後地のマリンピア黒井跡地のコンクリート護岸で観察した．

新生腹足目（中腹足目） Order Caenogastropoda

ヤマタニシ科 Family Cyclophoridae

3. ヤマタニシ *Cyclophorus herklotsi* (Martens, 1860)（図版 I- 3a- c）（陸産）

【記　　録】厚母郷鬼ケ城 , 2018-V-21, 1ex.; 川棚越 , 2018-VII-31, 1ex.; 室津上御崎近隣（谷筋）, 2019-III-18, 1ex.; 室津上丸瀬付近（林床）, 2019-III-18, 2exs..

【備　　考】各地の落葉下に普通に生息し，里山から山地まで生息域は広い．殻径 20 mm，殻高 18 mm ほどの茶褐色の円錐形の殻をもった巻き貝で，角質の薄い蓋をもつ．今回の調査では 4 ケ所で記録し，個体数も少なかったが，普通に生息している．

4. アツブタガイ *Cyclotus campanulatus campanulatus* Martens, 1865（図版 I- 4a- c）（陸産）

【記　　録】厚母郷鬼ケ城 , 2018-V-21, 3exs..

【備　　考】各地の落葉下に生息し，里山から山地まで生息域は広い．殻径 14 mm，殻高 10 mm ほどの低い円錐形の殻で，厚い石灰質の蓋をもつ．今回の調査では鬼ケ城麓の山林だけの観察だったが，町内各地に普通に生息している．

5. サドヤマトガイ *Japonia sadoensis* Pilsbry & Hirase, 1903 （図版 I- 5）（陸産）

【記　　録】宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2018-IX-27, 2exs.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 4exs..

【備　　考】殻径約 5 mm，殻高約 6 mm ほどの円錐形で，薄質でもろい殻．殻の表面に針状の殻毛が 2 列生える．螺層は約 5 層でよく膨らむ．殻色，殻毛の色ともに黒褐色．殻口はほぼ円形，その縁は肥厚しない．角質の薄い蓋をもつ．関東以西の本州，四国，九州北部に分布．中国地方では，鳥取県・島根県（矢野重文氏，筆者宛て私信 ; 2019.11.5），岡山県（岡山県 , 2009）で記録されているが，各地とも生息地は局限され生息密度も極めて低い．常緑樹林の落葉下でやや乾燥した場所に生息する．県内での記録は，上関町，光市（旧大和町），岩国市，萩市と少ない．今回の調査では，町内鳥井ケ峠の 1 ケ所でのみ記録した．環境省 RDB では準絶滅危惧，山口県 RDB では絶滅危惧 IA 類.

6. ミジンヤマタニシ *Nakadaella micron* (Pilsbry, 1900)（図版 I- 6a- f）（陸産）

【記　　録】鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 11exs.; 川棚越 , 2018-VII-31, 35exs.; 川棚横道中国自然道沿い（林床）, 2019-III-1, 4exs.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 1ex..

【備　　考】山地の落葉下に生息する．殻径 2 mm，殻高 1.2 mm ほどの殻で蓋もつ．ヤマタニシを著しく小さくしたような形をしている．各地とも生息数は多い．豊浦町では各地に生息し，いずれも個体数は多い．殻の巻き方に異常な個体が発見されることも多く，第一層が大きくはずれて巻く個体がハズレミジンヤマタニシ *N. ogaitoi* Minato, 1988 として記載された（湊 , 1988）こともある．山口県内でも萩市笠山から殻頂部が異常な巻き方をした個体が報告されている（木村 , 2014）．なお，ハズレミジンヤマタニシ型の県内初の記録が，下関市豊北町（2017 年）にある（増野･川野 , 2018）．今回の調査では，殻が逆向き（左巻き）に巻く〝逆旋〟個体が，川棚横道の自然歩道脇の林床で発見された．県内での逆旋個体の報告は，今回が初めてである．

7. ヤマグルマガイ *Spirostoma japonicum japonicum* (A. Adams, 1867)（図版 I- 7a- c）（陸産）

【記　　録】厚母郷鬼ケ城 , 2018-V-21, 1ex.; 川棚越 , 2019-III-1, 1ex..

【備　　考】山地の落葉下に生息する，殻径 15 mm，殻高 8 mm ほどの低い円盤状の殻をもつ．蓋は角質のとんがり帽子状で珍奇である．県内ではヤマタニシ，アツブタガイなどとともに生息し，各地で普通に生息するが，豊浦町では 2 ケ所，2 個体の記録しかなく生息が少ないことを示している．

8. ピルスブリムシオイガイ *Dicharax pilsbryi* (Kobelt, 1902)（図版 I- 8a- c）（陸産）

【記　　録】川棚越 , 2018-VII-31, 1ex..

【備　　考】山地の落葉下に生息する殻径 3.5 mm, 殻高 2 mm ほどの低い円錐形をし, 殻に角質の蓋をもつ．殻背面にうじ虫状の呼吸管をもつため，〝虫負い〟の名が付く．県内に広く分布するが，個体数は極めて少ない．豊浦町では東部の山地・川棚越地域で 1 個体記録したのみである．ムシオイガイの仲間は，山口県固有種のタダムシオイガイ *D. tadai* (Kuroda & Kawamoto, 1950)（萩市見島）やヤサガタイトウムシオイガイ *D.* (*Sigmacharax*) *itonis shiotai* (Minato & Yano, 1988)（萩市笠山）を含めて数種が記録されている．豊北町内

では本種を一回り大きくした個体が，角島をはじめ沿岸部の各地で見つかっている（増野・川野 , 2018）．現在，専門家により詳細な研究が行われており，オオピルスブリムシオイガイ *Dicharax* sp. と仮称されている（矢野 , 2008, 2015b）．この個体が響灘に浮かぶ蓋井島でも生息していることから，豊浦町内でも生息が期待されたが，今回の調査では確認できなかった．

ゴマガイ科 Family Diplommatinidae

9. キュウシュウゴマガイ *Diplommatina* (*Sinica*) *tanegashimae kyusyuensis* Pilsbry & Hirase, 1904（図版 I- 9）（陸産）

【記　　録】鬼ケ城（520 m付近）, 2018-V-21, 3exs..

【備　　考】山地の落葉下に生息する殻径 1.5 mm，殻高 3 mm ほどの，紡錘形をした右巻きの微小貝．殻表面には細かい肋の彫刻が並ぶ．殻色は淡い橙色で，胡麻のように小さいことから名付けられた．県内各地に見られるが，今回の調査では，鬼ケ城中腹の 1 ケ所でのみ記録した．

タニシ科 Family Viviparidae

10. マルタニシ *Cipangopaludina chinensis laeta* (Martens, 1860)（図版 II- 1a- c）（淡水産）

【記　　録】吉永野田（用水路）, 2018-VII-23, 1ex..

【備　　考】水田や湿地，水路や小川などの 1 年を通じて水の涸れない場所に生息する．成貝は殻高 50 mm を超す丸い円錐形の殻をもつ．近年，水田整備が進み，生息適地が減少した．かつては普通にみられたが，現在県内でも限られた場所にしかみられなくなった．今回は調査ができなかったが，町内の多くの溜池には生息していることが推測される．今回の調査では, 吉永野田の水田用水路で 1 個体のみ記録した．環境省 RDB では絶滅危惧 II 類，山口県 RDB では準絶滅危惧.

クビキレガイ科 Family Truncatellidae

11. ヤマトクビキレ（キュウシュウクビキレ）*Truncatella pfeifferi* Martens, 1860（図版 II- 2）（陸産）

【記　　録】涌田海岸 , 2016-IV-14, 1ex.; 松田真紀子 ; 室津下甲山西海岸（ブッシュ）, 2018-VI-21, 1ex.; 涌田後地マリンピア黒井跡地 , 2018-XI-21, 1ex.; 涌田後地 , 2018-XI-21, 2exs., 松田真紀子 .

【備　　考】殻は細長く , 殻高 6 mm くらいの円筒形. 殻色は鮮やかな赤褐色. 幼貝では高い円錐形であるが，成貝では殻頂部が折れて欠損している．このため「クビキレ」と呼ばれる．殻表には顕著な縦肋がある．海浜の飛沫帯に生息し，湿った転石の間隙やゴミ・海藻類の堆積の間にみられる．県内各地に分布し，豊浦町内では 4 ケ所で確認した．

ヌマツボ科 Family Amnicolidae

12. ホラアナミジンニナ *Moria nipponica* (Mori, 1937)（図版 II- 3）（淡水産）

【記　　録】川棚奥畑 , 2019-III-2, 2exs.; 室津上丸瀬付近（谷筋）, 2019-III-18, 7exs..

【備　　考】山地の渓流の水につかる小石や落葉裏に生息する．殻径 1 mm 弱，殻高 1.5 mm ほどの紡錘形をした淡水産貝．美祢市美東町大田にある石灰洞穴で発見（黒田・波部 , 1957）され，かつてはアキヨシホラアナミジンニナ *Moria akiyoshiensis* Kuroda & Habe, 1958 と呼ばれていたが，現在では各地に生息するホラアナミジンニナのシノニム（同種異名）とされている（岡藤 , 1977）．本種は肺吸虫の中間宿主であり（岡藤・初鹿 , 1979），医学分野からも注目された．豊浦町内では奥畑，丸瀬の 2 ケ所で確認され，いずれも谷川の渓流の小石の裏にみられた．環境省 RDB では絶滅危惧 II 類，山口県 RDB では準絶滅危惧.

エゾマメタニシ科 Family Bithyniidae

13. ヒメマルマメタニシ *Gabbia kiusiuensis* (S. Hirase, 1927)（図版 II- 4）（淡水産）

【記　　録】厚母郷（水田）, 2018-VII-21, 3exs.; 吉永北無田 , 2018-VII-23, 1ex.; 宇賀本郷 JR 宇賀本郷駅側河口付近 , 2018-VII-31, 7exs..

【備　　考】各地の水田や池沼などに生息する，殻径 4 mm，殻高 6 mm ほどの小さなタニシの仲間．県内の分布は局所的で，主に湿地や干拓地の多い瀬戸内側の柳井地域や山陽小野田地域にみられる．内陸部では旧徳地町（福田 , 1990・1995; 福田 , 2002），県西部の下関市豊田町（増野・川野 , 2017）での記録がある．今回の調査では，北部の宇賀から南部の厚母郷まで，3 ケ所から記録された．山口県西部での生息は，豊田町に続いて 2 例目である．環境省 EDB では絶滅危惧 II 類，山口県 RDB では準絶滅危惧.

カワザンショウガイ科 Family Assimineidae

14. クリイロカワザンショウ *Angustassiminea castanea* (Westerlund, 1883)（図版 II- 5a-c）（淡水産）

【記　　録】涌田後地 , 2018-XI-21, 1ex., 松田真紀子 .

【備　　考】殻高約 5 mm ほどの塔状で，螺管は膨れず外観は直線的である．殻表面は和名のごとく栗色または赤褐色．革質の蓋がある．河口や海水の影響のある池沼のヨシ原など，やや高潮帯に生息する．豊浦町内では涌田後地の河口域で 1 個体確認した．環境省 RDB では準絶滅危惧.

15. サツマクリイロカワザンショウ *Angustassiminea satsumana* (Habe, 1942)（図版 II- 6a-c）（淡水産）

【記　　録】涌田海岸 , 2016-IV-14, 2exs., 松田真紀子 ; 2018-XI-21, 1ex., 松田真紀子 ; 涌田後地マリンピア黒井跡地 , 2018-XI-21, 2exs..

【備　　考】殻高 3 mm ほどで，クリイロカワザンショウガイに似た塔状をしている．殻色は透明感のある黄褐色から赤みのある褐色．軟体部の頭部には，赤みにある口球が観察される．河口のヨシ原，海岸に打ち上げられたゴミや海藻類の裏にもみられる．大形のオオウスイロヘソカドガイ *Paludinellassiminea tanegashimae* (Pilsbry, 1924) と混生していることもあるが，本種はより小さい．豊浦町内では涌田後地地域の海岸域で記録した.

16. カワザンショウガイ *Assiminea lutea japonica* Martens, 1877（図版 II- 7a- c）（淡水産）

【記　　録】川棚川棚川河口（中洲アシ原）, 2018-VIII-22, 39exs..

【備　　考】殻高 10 mm ほどで，カワザンショウガイの仲間としては大きい．殻全体はふっくらして，体層下部はやや角張っており臍孔は開かない．殻表面は黄褐色で，茶褐色の不明瞭な数本の色帯をもつ．成貝では殻頂部が侵食されることが多い．河口周辺の汽水域や淡水域，内湾奥部の淡水の影響がある川岸やヨシ原に生息する．豊浦町では川棚川河口にできる中洲ヨシ原で記録した.

17. ウスイロオカチグサ *Solenomphala debilis* (Gould, 1859)（図版 II- 8a-c）（陸産）

【記　　録】黒井杜屋杜屋神社付近（用水路）, 2018-VII-21, 35exs.; 川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 18exs..

【備　　考】殻高 6 mm，殻径 4 mm ほどの円錐形．殻は薄質で透明感があり，臍孔は狭いが開く．殻表面は生息地の泥土が付着し暗褐色であるが, 清浄すると黄褐色から赤みのある褐色である．軟体は黒っぽく，眼点は触角の先端近くにある．近畿地方から四国，九州と本州西部に広く生息する（矢野・増田 , 1999）が，本来の分布は奄美大島以南の南西諸島である．山口県内でも防府市（福田ほか , 1992）・宇部市（保坂 , 1996）での記録があり , いずれの採集地も園芸店内あるいは付近の温室内外である. この点から, 保坂（1996）は「植木や苗に付着して各地に分布域を拡大した」ものと推察している．筆者の一人増野は，過去（2002-

VII-13, 増田修氏同定）に萩市内（旧福栄村）の水田用水路で 1 個体採集している（増野未発表）．矢野ら（矢野・増田 , 1999）は国内移入の可能性があるにしても, 各地の生息環境等を考慮すると「移入と在来の双方」が考えられるとの見解を示している．今回，豊浦町内の 2 ケ所で多数の個体を確認したが，環境は水田の土手・用水路の泥土の上であった．

18. オオウスイロヘソカドガイ *Paludinellassiminea tanegashimae* (Pilsbry, 1924)（図版 II- 9a- c）（陸産）

【記　　録】室津下 , 2016-XI-11, 3exs., 松田真紀子 ; 宇賀 , 2016-XI-16, 2exs., 松田真紀子 ; 宇賀本郷鯖釣山麓西海岸（岩礁）, 2018-VII-31, 2exs.; 涌田後地マリンピア黒井跡地 , 2018-XI-21, 7exs.; 涌田後地 , 2018-XI-21, 8exs., 松田真紀子 ; 宇賀本郷夫婦岩付近（岩礁転石）, 2019-IX-16, 5exs.; 室津上丸瀬付近海岸（転石）, 2019-III-1, 5exs..

【備　　考】殻高 8 mm, 殻径 5 mm ほどの円錐形．ヘソカドガイに似るが一回り大きい．殻色は淡い橙黄色．螺塔が高く，体層の周縁が弱く角張る．臍孔は狭いがはっきりと開き，ヘソカドガイに比べると臍孔の周囲の角は弱い．外形はヘソカドガイに酷似しているが，殻底をみると本種は臍孔がわずかに開き臍孔周囲の角も弱いのに比べて，ヘソカドガイは大きく明瞭に開き臍孔周囲の角も強くなり識別は容易である．岩礁地の高潮帯の礫間や堆積物の下に生息する．山口県の日本海側を中心に各地に生息する．豊浦町内では北部から南部にかけて，多数を確認した．

カワニナ科 Family Semisulcospiridae

19. カワニナ *Semisulcospira* (*Semisulcospia*) *libertina* (Gould, 1859)（図版 III- 1a）（淡水産）

【記　　録】室津下 , 2018-V-21, 10exs.; 室津下甲山西龍宮英彦不動院入口付近（用水路）, 2018-VI-21, 2exs.; 室津上山中溜池 , 2018-VI-21, 5exs.; 黒井 JR 黒井村駅西側（用水路）, 2018-VII-16, 19exs.; 厚母郷（水田用水路）, 2018-VII-21, 5exs.; 黒井杜屋杜屋神社付近（用水路）, 2018-VII-21, 5exs.; 吉永北無田 , 2018-VII-23, 4exs.; 吉永野田（用水路）, 2018-VII-23, 3exs.; 宇賀本郷海岸側付近（用水路）, 2018-VII-27, 2exs.; 川棚西堂川棚川 , 2018-VII-27, 5exs.; 宇賀本郷 JR 宇賀駅側河口付近 , 2018-VII-31, 2exs.; 小串小田Ａ , 2018-VIII-3, 2exs.; 小串小田Ｂ , 2018-VIII-3, 2exs.; 川棚上畔 , 2018-VIII-3, 3exs.; 川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 6exs.; 川棚葉中Ｂ , 2018-VIII-3, 10exs.; 川棚中下（水田用水路）, 2018-VIII-22, 2exs.; 黒井中村 , 2019-III-18, 3exs.; 黒井市 , 2019-III-18,6exs.; 吉永野田（用水路）, 2019-V-15, 1ex..

【備　　考】殻高 20 ～ 50 mm ほどで，黒褐色の紡錘形をしている．殻表面には弱い螺条脈がある．各地の河川や用水路で普通．“ 清流にすみ，ゲンジボタルの餌となる貝 ” としてきれいな水にすむ生き物として扱われるが，むしろ人里や市街地に近い小河川や水路など，有機質が多分に存在する水質を好むようである．ゲンジボタルが飛び交う豊浦町内では，水田の広がる小河川や用水路に生息する．流水中にすむ個体は殻頂部が破損していることが多いが, 滞水域や流れの緩やかな場所では殻頂部の残る個体がみられる．雌雄異体で，雌が幼貝を直接産出する卵胎生．豊浦町の各地で記録した．

〔ミスジカワニナ型〕*Semisulcospira bensoni japonica* (Reeve, 1859)　（図版 III- 1b）

【記　　録】 川棚奥畑堰止め湖 , 2018-VII-31, 2exs.; 川棚上畔 ,2018-VIII-3, 2exs.; 宇賀本郷（大河内寄り）沿道（池）, 2019-III-1, 3exs.; 川棚奥畑 , 2019-III-2, 6exs..

【備　　考】カワニナの黒褐色をした殻表面が弱い螺条脈をもつ標準的な個体に混じって，殻色がやや黄褐色で体層部分に 3 本の濃褐色から赤褐色の色帯をもつ個体が見られる．この特徴をもつ型をいう（加藤 , 1993）．今回の調査でも 4 ケ所で見られた．

20. チリメンカワニナ *Semisulcospira reiniana* (Brot, 1876)（図版 III- 2）（淡水産）

【記　　録】吉永野田（用水路）, 2018-VII-23, 2exs.; 吉永北無田 , 2018-VII-23, 1ex.; 宇賀本郷海岸側水田（用水路）, 2018-VII-27, 6exs..

【備　　考】殻高 15 ～ 30 mm ほどで，カワニナよりも一回り小さい．川や水路，湖沼などの止水域に生息する点でカワニナとは異なるとされる（増田・内山 , 2004 ）が，豊浦町内ではカワニナとの混生がみられた．しかし個体数は少なかった．殻は黒褐色，表面に強い縦肋がある．県内での産地は少ない．豊浦町内では 3 ケ所で記録した．

有肺目 Order Pulmonata

オカミミガイ科 Family Ellobiidae

21. ハマシイノミガイ *Melampus castaneus* (Megerle von Mühlfeld, 1816)（図版 III- 3）（淡水産）

【記　　録】涌田海岸 , 2016-IV-14, 2exs., 松田真紀子 ; 涌田後田 , 2017-VIII-31, 2exs. 松田真紀子 ; 2018-XI-21, 2exs., 松田真紀子 ; 涌田後地マリンピア黒井跡地 , 2018-XI-21, 3exs..

【備　　考】殻高 15 mm，殻径 10 mm 前後で，シイの実の形をした海産の貝である．関東・北陸地方以南に広く分布する．海岸や波当たりの強い河口の岩礁帯やコンクリート護岸の隙間などに生息する．殻質は厚く，臍孔は閉じる．外唇縁は肥厚しないが，やや内側が白く肥厚し，5 ～ 6 歯をもつ．海産であるが，今回の調査では，涌田後地の海岸壁ブロック上や淡水の混じる河口近くの岩礁で観察したので，淡水産として記録した．

サカマキガイ科 Family Physidae

22. サカマキガイ *Physa acuta* Draparnand, 1805（図版 III- 4）（淡水産）

【記　　録】涌田後地 , 2018-V-21, 1ex.; 室津上山中溜池 , 2018-VI-21, 10exs.; 黒井 JR 黒井村駅西側（用水路）, 2018-VII-16, 2exs.; 厚母郷（水田用水路）, 2018-VII-21, 7exs.; 黒井杜屋杜屋神社付近（用水路）, 2018-VII-21, 3exs.; 黒井杜屋杜屋神社西水田 , 2018-VII-23, 8exs.; 吉永野田（用水路）, 2018-VII-23, 4exs.; 川棚西堂川棚川 , 2018-VII-27, 4exs.; 宇賀本郷海岸側水田（用水路）, 2018-VII-27, 1ex.; 宇賀本郷 JR 宇賀本郷駅側河口付近 ,2018-VII-31, 4exs.; 川棚上畔 , 2018-VIII-3, 1ex.; 川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 1ex.; 小串小田Ａ , 2018-VIII-3, 3exs.; 小串小田Ｂ , 2018-VIII-3, 3exs.; 黒井中村 , 2019-III-18, 3exs..

【備　　考】各地の水田や池沼，用水路などにみられる．殻は殻高 10 mm ほどの紡錘形で，左巻きである．右巻きのモノアラガイやヒメモノアラガイの触角が三角形をしているのに対し，本種は細長い鞭状をしており異なる．ヨーロッパ原産の外来種とされ（増田 , 2002），県内各地にみられる．在来のモノアラガイやヒメモノアラガイに比べて汚染に強く , 多少環境の悪い排水路などでも生息がみられる．豊浦町内の水田，溜池，用水路で普通に観察できた．

モノアラガイ科 Family Lymnaeidae

23. ヒメモノアラガイ *Galba ollula* (Gould, 1859)（図版 III- 5）（淡水産）

【記　　録】涌田後地 , 2018-V-21, 2exs.; 室津上山中溜池 , 2018-VI-21, 6exs.; 厚母郷（水田用水路）, 2018-VII-21, 1ex.; 吉永北無田 , 2018-VII-23, 5exs.; 黒井杜屋杜屋神社西水田 , 2018-VII-23, 2exs.; 川棚西堂川棚川 , 2018-VII-27, 1ex.; 宇賀本郷海岸側（水田用水路）, 2018-VII-27, 2exs.; 宇賀豊原（水田）, 2018-VII-31, 2exs.; 宇賀豊原（溜池）, 2018-VII-31, 2exs.; 川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 2exs..

【備　　考】池沼や湖，流れの緩やかな水路など止水域を好んで生息する．各地に分布するが，類似した外来種も帰化している．同所的にみられるモノアラガイと比べて，殻口が狭く，螺塔が全体に高くなる．

殻表面は光沢がある．一対の触角は三角形で, 触角の基部の内側に眼点がある．豊浦町内では各地の水田, 溜池，用水路で普通にみられた.

24. コシダカヒメモノアラガイ *Galba truncatula* (Müller, 1774)（図版 III- 6）（淡水産）

【記　　録】吉永北無田 , 2018-VII-23, 1ex.; 宇賀本郷海岸側水田（用水路）, 2018-VII-27, 1ex..

【備　　考】殻高 5 mm，殻径 2.5 mm 前後で，殻口の高さが殻高の半分ほどで，ヒメモノアラガイと比べると螺塔が高く伸びる．殻表面には微細な成長脈があり，殻質は薄く黄褐色である．狭い臍孔がある．水田や湿地などの水際に生息する．日本各地に生息するが，外来種と考えられている（波部 , 1990）．山口県内では山口市や萩市，下関市で記録されている．下関市内の記録は，豊北町角島での記録である（増野 , 1999）．今回の調査で，豊浦町内 2 ケ所で記録した．環境省 RDB では情報不足.

25. モノアラガイ近似種 *Radix* sp. cf. *auricularia* (Linnaeus, 1758)（図版 III- 7）（淡水産）

【記　　録】川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 1ex.; 黒井市 , 2019-III-18, 1ex.; 吉永野田（用水路）, 2019-V-15, 1ex..

【備　　考】各地の溜池や用水路に生息する．螺塔の高さに比べて殻口の広がりが大きい，右巻きの巻き貝である．同じ環境に生息する外来種で左巻きのサカマキガイが，環境の悪化に強いのに対して，本種は環境変化の影響を受けやすい．今回の調査で記録した個体は，すべて典型的なモノアラガイに比べ，殻口外縁の張り出しが弱いため，近似種とした．近年，各地で記録されている外来種の可能性もある（増田・内山 , 2004; 熊澤ら , 2019）．その中には本種よりも殻口の広がりが弱い個体も見られる．今回の調査では 3 所ケの用水路で記録した.

26. ハブタエモノアラガイ *Pseudosuccinea columella* (Say, 1817)（図版 III- 8）（淡水産）

【記　　録】室津上山中溜池 , 2018-VI-21, 11exs..

【備　　考】殻高 5 mm，殻径 2.5 mm 前後で，殻口の高さが殻高の半分ほどで，ヒメモノアラガイと比べると螺塔が高く伸び，殻口縁が大きく広がるモノアラガイと比較するとその広がりは弱く縦に長い．殻表面には微細な成長脈があり，殻質は薄く黄褐色である．狭い臍孔がある．原産地などは不詳であるが，外来種である（保坂 , 1996）．各地の水田や湿地などの水際に生息する．県内数カ所からの記録がある．下関市内では豊田町（増野・川野 , 2017）に続いて，豊浦町での記録が 2 例目である.

ヒラマキガイ科 Family Planorbidae

27. ヒラマキミズマイマイ *Gyraulus chinensis spirillus* (Gould, 1859)（図版 III- 9a- f）（淡水産）

【記　　録】黒井 JR 黒井村駅西側（用水路）, 2018-VII-16, 1ex.; 厚母郷（水田用水路）, 2018-VII-21, 1ex.; 宇賀豊原（水田）, 2018-VII-31, 9exs.; 宇賀豊原（溜池）, 2018-VII-31, 5exs.; 黒井杜屋杜屋神社西水田 , 2018-VII-23, 4exs.; 宇賀本郷海岸側水田（用水路）, 2018-VII-27, 2exs.; 川棚西堂川棚川 , 2018-VII-27, 1ex.; 宇賀本郷 JR 宇賀本郷駅側河口付近 , 2018-VII-31, 4exs..

【備　　考】水田の用水路や池沼の水草に生息する．殻径 5 mm ほどの扁平な円盤状をした殻をもつ．殻を横からみると周縁が丸くなるタイプとやや角張るタイプの二型が見られる．かつては各地の池や堤の水草に普通に見られたが，近年，確認する機会が極めて少なくなった．同じ環境にすむヒラマキガイモドキやクルマヒラマキガイとは周縁や殻全体の形から識別は容易である．ミズコハクガイにも似るが，本種が螺塔部分が弱く窪むのに対し，ミズコハクガイは緩やかに高まる．豊浦町内では各地に見られ，生息は健在である．環境省 RDB では情報不足.

28. トウキョウヒラマキガイ *Gyraulus tokyoensis* (Mori, 1938)（図版 III- 10a- c）（淡水産）

【記　　録】川棚西堂川棚川 , 2018-VII-27, 4exs.; 川棚上畔 , 2018-VIII-3, 1ex..

【備　　考】水田の用水路や池沼の水草に生息する．殻径 5 mm ほどの扁平な円盤状をした殻をもつ．殻形はヒラマキミズマイマイに酷似するが，周縁が角張り，その微隆起上に毛状の殻皮毛がある．老成個体では殻毛は摩耗して欠落している．県内での記録も少なく稀産種である．今回の調査では，川棚の 2 ケ所で記録した．環境省 RDB では情報不足.

29. クルマヒラマキガイ（レンズヒラマキガイ）*Hippeutis cantori* (Benson, 1850)（図版 III- 11a- c）（淡水産）

【記　　録】室津上山中溜池 , 2018-VI-21, 4exs.; 黒井 JR 黒井村駅西側（用水路）, 2018-VII-16, 1ex.; 黒井杜屋杜屋神社西側（水田）, 2018-VII-23, 22exs.; 小串小田Ａ , 2018-VIII-3, 4exs.; 黒井市 , 2019-III-18, 9exs..

【備　　考】水田の用水路や池沼の水草に生息する．殻径 8 mm，殻高 2 mm ほどの扁平な円盤状をした殻をもつ．殻を横からみると殻頂部はわずかに窪み, 周縁の底角は著しく角張り, 底面はほぼ平坦になる．殻色は淡い黄色または赤褐色で光沢がある．県内での記録は，県東部の柳井・平生地域，山口市，宇部・山陽小野田地域と，瀬戸内側の低湿地付近に限定されている．下関市内では，20 年以上前に豊浦町黒井での記録（Hori *et al*., 1996）があり，県西部での唯一の記録である．近年，県西部の下関市菊川町での生息が確認されている（徳永浩之氏増野宛て私信 , 2015.12.14）．今回の調査では，5 ケ所から複数個体の生息を確認した．山口県 RDB では絶滅危惧Ⅱ類.

30. ヒラマキガイモドキ *Polypylis hemisphaerula* (Benson, 1842)（図版 III- 12a- c）（淡水産）

【記　　録】黒井 JR 黒井村駅西側（用水路）, 2018-VII-16, 1ex.; 厚母郷（水田）, 2018-VII-21, 2exs.; 黒井杜屋杜屋神社西側（水田）, 2018-VII-21, 2exs.; 吉永北無田 , 2018-VII-23, 4exs.; 宇賀本郷海岸側（用水路）, 2018-VII-27, 6exs.; 宇賀本郷 JR 宇賀本郷駅側河口付近 , 2018-VII-31, 7exs.; 黒井中村 , 2019-III-18, 9exs..

【備　　考】水田の用水路や池沼の水草に生息する．殻径 5 mm ほどの扁平な円盤状をした殻をもつ．殻を横からみると台形をしており，底側には殻を透かして数本の帯状の内彫刻が確認できる．今回の調査では，7 ケ所で記録した．環境省 RDB では準絶滅危惧.

カワコザラガイ科 Family Ferrissiidae

31. カワコザラガイ *Laevapex nipponica* (Kuroda in Is. Taki, 1860)（図版 IV- 1a, b）（淡水産）

【記　　録】黒井杜屋杜屋神社西側（用水路）, 2018-VII-21, 1ex.; 吉永野田（用水路）, 2018-VII-23, 1ex..

【備　　考】長径 4 mm，短径 2 mm ほどの長楕円形の笠形の貝．殻質は白質で脆く，半透明をしている．殻表には同心円状に成長脈がある．全国に分布し，溜池や用水路，湖沼でみられる．山口県内の記録は少なく，産地，個体数ともに極めて少ない．今回の調査でも 2 ケ所から，各 1 個体確認しただけである.

後鰓亜綱 Class Opisthobranchoa

マイマイ目 Order Stylo mmatophira（柄眼目）

マキゾメガイ科 Family Acanthinulidae

32. マルナタネガイ *Parazoogenetes orcula* (Benson, 1850)（図版 IV- 2a, b ）（陸産）

【記　　録】宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 3exs..

【備　　考】黒褐色をした球状円錐形で，殻高 2 mm ほどの微小な貝である．柑橘類・広葉樹・ムクノキ・アオキなどの樹皮や葉裏に着生することが多い．ヒラドマルナタネと酷似するが，本種は臍孔が閉じるのに対し，ヒラドマルナタネは臍孔が広くて深い点で識別できる．今回の調査では 1 ケ所で記録しただ

けである．

ミジンマイマイ科 Family Valloniidae

33. ミジンマイマイ *Vallonia pulchellula* (Heude, 1882)（図版 IV- 3a- c）（陸産）

【記　　録】小串犬鳴峠 , 2018-X-14, 28exs..

【備　　考】殻径 2 mm，殻高 1 mm で低く平らに巻く微小な巻き貝．殻は白色半透明で，表面に細かい縦肋が密にある．殻口は厚くなり反転する．広い臍孔をもつ．海岸性の陸貝で，ハマオモトなどの海浜植物の根元などに生息する．山口県内では日本海側の自然度の高い海岸に見られる．今回の調査では，海岸からやや離れた，小串犬鳴峠の国道 191 号線沿いの林床からのみ記録した．

キセルガイ科 Family Clausiliidae

34. スグヒダギセル *Zaptyx* (*Hemizaptyx*) *stimpsoni subgibbera* (Boettger, 1877)（図版 IV- 4）（陸産）

【記　　録】川棚 , 2014-VIII-26, 1ex., 川野敬介 ; 黒井杜屋杜屋神社 , 2018-VII-21, 20exs.; 宇賀本郷夫婦岩付近沿道斜面 , 2018-VII-27, 9exs.; 宇賀本郷夫婦石付近沿道（ブッシュ）, 2018-VII-27, 3exs.; 宇賀本郷海岸（ブッシュ）, 2018-VII-31, 1ex.; 川棚葉中Ａ（用水路脇ブッシュ）, 2018-VIII-3, 1ex.; 小串犬鳴峠 , 2018-X-14, 1ex.; 川棚横道八坂（中国自然歩道沿道）, 2019-III-1, 2exs.; 室津上丸瀬付近（林床）, 2019-III-18, 1ex.; 川棚宮地嶽神社 , 2019-V-8, 2exs.; 宇賀湯玉北宇賀八幡宮 , 2019-V-8, 6exs.; 小串笠松ノ鼻付近 , 2019-IX-16, 6exs..

【備　　考】殻高 15 mm ほどの紡錘形をしたキセルガイ類．里山の倒木や寺社の古木，山林の落葉下などに生息する．人家近くの藪の中に集団でみられることがある．かつては山口県西部に分布する個体をナガトギセル（タイプローカリティ：長門・出合）（Pilsbry, 1900），県東部に分布するものをハリマギセル（タイプローカリティ：香島・播磨）（Pilsbry, 1901）としていたが，現在ではスグヒダギセルのシノニム（同種異名）としてまとめられている（湊 , 1994）．豊浦町内では北部から南部まで，神社叢や樹林でみることができた．

35. ナミギセル *Stereophaedusa* (*Mesophaedusa*) *japonica* (Crosse, 1871)（図版 IV- 5）（陸産）

【記　　録】室津上椿原 , 2018-VI-21, 2exs.; 黒井杜屋杜屋神社 , 2018-VII-21, 1ex.; 宇賀本郷夫婦岩付近沿道（ブッシュ）, 2018-VII-27, 9exs.; 宇賀本郷海岸（ブッシュ）, 2018-VII-31, 2exs..

【備　　考】各地の里山や市街地の草地，落葉下に生息する殻高 25 mm ほどの中形のキセルガイ類．人家周辺にも生息し，比較的なじみのあるキセルガイ類である．今回の調査では調査では神社叢や人家周囲の草むら，および沿道の藪で記録した．

36. シリオレギセル *Megalophaedusa* (*Tyrannophaedussoides*) *bilabrata* (Smith, 1876)（図版 IV- 6）（陸産）

【記　　録】宇賀夫婦岩付近沿道（ブッシュ）, 2019-V-8, 4exs..

【備　　考】殻長 28 mm ほどの中形のキセルガイ類．殻頂部近くから折れ, 欠損している．殻縁は厚く白く，反転する．内唇の下部に数個の襞が弱くある．本州中部以西の各地に分布する．県内でも各地の山地の落葉下で見られる．山地性であるが，豊浦町内では北部，豊北町と接する夫婦岩近くの国道 191 号線沿道の藪で繁殖しているのを記録した．

37. カワモトギセル *Megalophaedusa* (*Tyrannophaedussoides*) *kawamotoi* (Kuroda & Taki, 1944)（図版 IV- 7）（陸産）

【記　　録】川棚横道八坂（中国自然歩道沿道）, 2019-III-1, 4exs..

【備　　考】殻高 20 mm ほどの紡錘形をしたキセルガイ類．山口県の貝類研究者・河本卓介氏（1900 ～

1968）が, 岩国市城山で発見し記載された（黒田・瀧 , 1944）．タイプローカリティの岩国市城山産の個体は, 殻口の唇縁に細かなきざみ状の彫刻がみられる（湊 , 1999）．県西部の個体は，豊浦町産も含めて唇縁の彫刻は現れない．山地の倒木の裏や落葉中に生息する．町内では八坂の中国自然歩道脇の古木根元から 4 個体を記録した．環境省 RDB，山口県 RDB ともに絶滅危惧種 II 類.

38. キュウシュウナミコギセル *Tauphaedusa subaculus* (Pilsbry, 1902)（図版 IV- 8）（陸産）

【記　　録】川棚 , 2014-VIII-26, 9exs., 川野敬介 ; 小串小田後海水浴場付近 , 2018-VIII-22, 15exs.; 小串小田丸山墓地付近 , 2018-VIII-22, 5exs..

【備　　考】殻高 15 mm ほどの紡錘形をした小形のキセルガイ．人家周辺や神社の草むらや樹幹に見られる．近縁のナミコギセル *T. tau* (Boettger, 1877) が関東以西の本州，中国東部，四国東部に分布し，九州には本種が分布するとされる（湊 , 1994）．湊（1994）に拠ると，ナミコギセルは殻口の上板が小形で尖り，対してキュウシュウナミコギセルでは上板が低くなる特徴を示すとされる．今回の調査で記録した個体は上板が低く弱くなっており，キュウシュウナミコギセルに同定される．同様な特徴をもつ個体は，近年になって山口県各地で記録され，これまでに 5 市・町（山陽小野田市，宇部市，長門市，美祢市，和木町 ; 2019 年 10 月現在）に分布している．スグヒダギセルとの混生もみられ，2 種を誤同定する可能性もある．今回の調査で 3 ケ所記録したが，いずれの場所でもその繁殖の個体数は夥しい.

39. シイボルトコギセル *Reinia sieboldtii* (L. Pfeiffer, 1848)（図版 IV- 9）（陸産）

【記　　録】黒井杜屋杜屋神社 , 2018-VII-21, 2exs.; 川棚台クスの森 , 2018-VII-23, 3exs.; 宇賀湯玉北宇賀八幡宮 , 2019-III-18, 3exs.; 2019-V-8, 2exs..

【備　　考】海岸部や島嶼の林，寺社の社叢や境内に残る古木の樹幹等に生息する樹上性のキセルガイ類．殻高 20 mm 弱で紫褐色の殻をもち，神社の御神木にも生息することから，長命・安全航海・弾丸除け等の守護とされてきた（河上ら , 1990）．下関市一の宮の住吉神社では，境内の古木にすむ本種のレプリカをお守りとしていた．そのほかにも，安産や早婚，夜泣き治療などの呪いに使用されてきたという，民俗学的にも興味のあるキセルガイ（煙管貝）である（河上ほか , 1990）．樹上性であることから，生息環境の悪化が懸念される．豊浦町では，黒井杜屋神社と湯玉北宇賀八幡宮，川棚のクスの森で記録した.

オカクチキレガイ科（オカチョウジガイ科）Family Subulinidae

40. オカチョウジガイ *Allopeas clavulinum* Potilz & Michaud, 1838（図版 IV- 10）（陸産）

【記　　録】涌田後地 , 2017-VII-21, 5exs.; 鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 1ex.; 黒井杜屋杜屋神社 , 2018-VII-21, 2exs.; 宇賀本郷夫婦岩付近沿道（ブッシュ）, 2018-VII-27,1ex.; 小串小田丸山墓地付近 , 2018-VIII-22, 2exs.; 室津下甲山 , 2018-X-14, 3exs.; 小串犬鳴峠 , 2018-X-14, 4exs.; 涌田後地真崎付近 , 2018-XI-21, 3exs.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 4exs..

【備　　考】人家周辺や里山の草地などに普通にみられる．殻高 10 mm ほどの細長い紡錘形の貝．殻は淡褐色で光沢がある．生貝の軟体部は濃い黄色を呈する．類似種にホソオカチョウジガイ，サツマオカチョウジガイ，ユウドオカチョウジガイ，マルオカチョウジガイ等があるが，殻頂部から体層にかけての膨らみや殻全体のプロポーションに差異がある．今回の調査では，町内各地で記録した.

41. ユウドオカチョウジガイ近似種 *Allopeas* sp. cf. *heudei* (Pilsbry, 1906)（図版 IV- 11）（陸産）

【記　　録】涌田後地 , 2017-VII-21, 3exs.; 川棚クスの森 , 2018-VII-23, 1ex.; 室津上丸瀬付近 , 2019-III-1, 3exs..

【備　　考】オカチョウジガイに類似するが，オカチョウジガイが殻頂部から体層にかけてふっくらして

いるのに対して，本種は殻頂からほっそりと体層にいたる（狩野・後藤 , 1996）．また，ホソオカチョウジガイほど細くはならない．生息環境は，里山というよりは山地性である．県内での記録は少ない．豊浦町内では，3 ケ所の落葉中から記録した．

42. トクサオカチョウジガイ *Paropeas achatinaceum* (Pfeiffer, 1846)（図版 IV- 12）（陸産）

【記　　録】宇賀本郷夫婦岩付近沿道斜面 , 2018-VII-27, 13exs.; 小串小田丸山墓地付近 , 2018-VIII-22, 20exs.; 室津上丸瀬付近（御崎地域境）, 2019-III-18, 3exs..

【備　　考】生息環境は，集落周囲の草むらや里山など人の手の入った林内の落葉中である．東南アジア原産の外来のオカチョウジガイ類である（黒田 , 1958; 黒住 , 2012）．殻表に粗い縦肋があり，光沢がない．殻はオカチョウジガイが殻頂部からふっくら膨らむのに比べて，殻頂部から比較的ほっそりとスマートに殻口に至る．山口県内各地に見られ，豊浦町内でも 3 ケ所から多数の個体を記録した．

43. ホソオカチョウジガイ *Allopeas pyrgula* (Schmacker & Boettger, 1891)（図版 IV- 13）（陸産）

【記　　録】川棚クスの森 , 2018-VII-23, 5exs.; 小串犬鳴峠 , 2018-X-14, 5exs.; 小串笠松ノ鼻付近 , 2019-IX-16, 1ex..

【備　　考】オカチョウジガイ類では最も小さく，殻全体が細く尖る．殻色は淡い褐色になる．里山の林床落葉下に生息する．山口県内の各地にみられるが，個体数は少ない．今回の調査でも 3 ヶ所で記録した．

44. オオクビキレガイ *Rumina decollata* (Linnaeus, 1758)（図版 IV- 14）（陸産）

【記　　録】小串小田丸山墓地付近 , 2018-VIII-22, 15exs.; 涌田後地マリンピア黒井跡地 , 2018-XI-21, 2exs..

【備　　考】本種は地中海地域原産の陸貝で，日本への移入は北九州市での確認が初めてである（湊・魚住 , 1991）．その後，山口県宇部市で定着・繁殖が確認（増野 , 1992c）され，ここ 20 数年のうちにほぼ山口県全域に拡大している（増野 , 2018）．地中にもぐり越冬し，産卵数も多く雑食性である．繁殖が自家受精と他家受精の両方を行うこと（松隈ら , 2006）や，拡散が植木や花卉野菜などの人為的移動によることなどにより，駆除は容易ではない．下関市内での生息は，市街地や海岸部などで早期に確認され , 市北部の豊北町への移入は 2002 年頃と考えられている（増野 , 2008）．今回の調査では豊浦町内 2 ケ所で，繁殖を確認した．

ナタネガイ科 Family Punctidae

45. ヒメナタネガイ *Punctum amblygonum pretiosum* (Gude, 1900)（図版 IV- 15a- c）（陸産）

【記　　録】小串犬鳴峠 , 2018-X-14, 3exs.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 1ex..

【備　　考】ナタネガイの仲間は, いずれも殻径が 2.5 mm 以下と極めて小さく , 殻色も褐色で発見しにくい．採集はもっぱら，林床の土壌を持ち帰り篩に通した後，実体顕微鏡の下で行った．ヒメナタネガイはナタネガイ類の中でも大形で殻径約 2 mm，殻表面に斜めの薄板状の成長肋が目立つ．周縁角が強く，臍孔は広い．今回の調査では小串，宇賀の 2 ケ所で記録した．

46. ミジンナタネガイ *Punctum atomus* Pilsbry & Hirase, 1904（図版 IV- 16a- c）（陸産）

【記　　録】川棚クスの森 , 2018-VII-23, 3exs.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 2exs.; 涌田後地真崎付近 , 2018-XI-21, 4exs.; 小串犬鳴峠 , 2018-X-14, 1ex..

【備　　考】殻径約 1.5 mm．大きさ，形ともにハリマナタネガイに類似する．殻表面には成長肋はなく，拡大鏡でみると微細で密な成長脈がある．また，臍孔はあるが殻径に比べて狭く，ヒメナタネガイより小

さい．県内での記録は少なく（岩国市，山口市，美祢市 ; 2019 年 10 月現在），下関市内では，豊田町（増野・川野 , 2017）と豊北町（増野・川野 , 2018）の記録がある．今回の調査では，4 ケ所から記録した．

47. ハリマナタネガイ *Punctum japonicum* Pilsbry, 1900（図版 IV- 17a- c）（陸産）

【記　　録】川棚クスの森 , 2018-VII-23, 3exs.; 川棚越 , 2018-VII-31, 3exs.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 2exs.; 涌田後地真崎付近 , 2018-XI-21,2exs.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 9exs..

【備　　考】殻径約 1.5 mm で，ナタネガイの仲間の中では小形である．殻表面には弱い薄板状成長肋があるが，ヒメナタネガイに比べて滑らかである．周縁は丸く，臍孔は狭い．個体数は多い．県内での記録は，前種ミジンナタネガイに比べると多い．今回の調査では 5 ケ所で，各産地とも複数個体記録した．

ナメクジ科 Family Philomycidae

48. ヤマナメクジ　*Meghimatium fruhstorferi* (Collinge, 1901)（図版 IX- 6）（陸産）

【記　　録】室津上山中 , 2018-VI-21, 2exs.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 1ex..

【備　　考】体長が 100 mm 以上にもなる大形のナメクジ類．灰褐色～茶褐色の軟体で，両側と中央に暗色の縦帯がある．各地に生息し，里山や山地内の倒木の裏や洞にひそんでいる．今回の調査では，2 ケ所で記録した．

コウラナメクジ科 Family Limacidae

49. チャコウラナメクジ *Ambigolimax valentiana* (Férussac, 1821)（図版 IX- 7）（陸産）

【記　　録】黒井 (藤田栄氏宅), 1997-I-20, 1ex., 齋藤みよ子 ; 豊洋台（水田用水路）, 2018-VII-21, 35exs..

【備　　考】軟体部は茶褐色で体長は 30 ～ 50 mm．背面に 2 本の縦線があり，頭部に続いた前半部分に甲羅を埋包した肉塊がある．この肉塊を開くと，石灰質の薄い甲羅を摘出することできる．人家周辺の植え込みの中，植木鉢やプランターの裏など，時には家の中まで侵入して困ることもある．ヨーロッパ原産の外来種（山口・波部 , 1958）であり，今日，駆除対策のナメクジというと本種をさす場合が多い．豊浦町内には 20 年以上前の記録がある（Kano *et al*, 2001）．今回の調査では豊洋台で記録しただけであるが，市街地を中心に広く，普通に生息しているはずである．

シタラ科 Family Euconulidae

50. キビガイ *Gastrodontella stenogyra* (A.Adams, 1868)（図版 V- 1a- c）（陸産）

【記　　録】鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 3exs.; 川棚越 , 2018-VII-31, 2exs.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 1ex.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 4exs..

【備　　考】各地の林内の落葉下にすむ殻径 2.5 mm ほどの微小貝である．螺塔の高い円錐形で巻き数が多い．螺層の間隔が狭いので，他の微小貝との識別は容易である．体層周縁に角があり，殻底は弧状となる．殻表面はなめらかで光沢がある．今回の調査では，4 ケ所で記録した．

51. ツノイロヒメベッコウ *Ceratochlamys ceratodes* (Gude, 1900)（図版 V- 2a- c）（(陸産）

【記　　録】川棚越 , 2018-VII-31, 14exs.; 川棚横道中国自然歩道沿道（林床）, 2019-III-1, 1ex..

【備　　考】林内の落葉下や草本群落中に生息する，殻径 5 mm ほどの低円錐形の貝．淡い黄褐色で強い光沢がある．周縁に強い角をもち，その上に溝があり突き出る．臍孔は閉じる．今回の調査では 2 ケ所で記録した．

52. ヒメベッコウ *Discoconulus sinapidium* (Reinhardt, 1877)（図版 V- 3a- c）（陸産）

【記　　録】涌田後地 , 2017-VII-21, 6exs.; 鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 8exs.; 川棚クスの森 , 2018-VII-23, 3exs.; 川棚越 , 2018-VII-31, 20exs.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 18exs.; 室津下甲山 , 2018-X-14, 6exs.; 涌田後地真崎付近 , 2018-XI-21, 5exs.; 川棚横道中国自然歩道沿道 (林床), 2019-III-1, 1ex.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 1ex..

【備　　考】各地の林内落葉下に生息する，殻径 2 mm 弱の低平な円錐形の殻をもつ．殻は半透明で淡黄褐色を呈し，光沢がみられる．臍孔は閉じる．ヤクシマヒメベッコウに類似するが，本種と比較すると，おおよそ殻径 2 mm 未満で，殻がやや高く，螺層の間隔が狭く，螺層数の多いものが本種である．殻径が同じくらいの大きさでも殻高が低く，螺層の間隔が広くなっている個体をヤクシマヒメベッコウとし，識別の目安としている．今回の調査では，9 ケ所から記録した．

53. ヤクシマヒメベッコウ *Discoconulus yakuensis* (Pilsbry, 1902)（図版 V- 4a- c）（陸産）

【記　　録】鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 5exs.; 川棚越 , 2018-VII-31, 1ex.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 2exs.; 川棚横道中国自然歩道沿道（林床）, 2019-III-1, 3exs..

【備　　考】各地の林内落葉下に生息する，殻径 2.5 ～ 3 mm ほどの低平な円錐形の殻をもつ．殻色は淡黄褐色をして光沢がある．臍孔は閉じる．ヒメベッコウに類似するが，本種の方が一回り大きく成長する．識別の目安として，幼貝の時は螺層の間隔が広く，相対的に螺塔が低くなる．今回の調査では，4 ケ所で記録した．

54. ウスイロシタラガイ *Parasitala pallida* (Pilsbry, 1902)（図版 V- 5a- c）（陸産）

【記　　録】宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 5exs..

【備　　考】里山近くの灌木の葉裏や落葉中にみられる殻径 3.5 mm ほどの微小貝である．マルシタラガイに似るが，殻全体が一回り小さい．殻表は淡い黄褐色で，殻頂部は白色である．殻は薄くもろい．山口県内には広く生息すると考えられるが記録は少ない．今回の調査では，宇賀鳥井ケ峠の落葉中に記録しただけである．

55. マルシタラガイ *Parasitala reinhardti* (Pilsbry, 1900)（図版 V- 6a- c）（陸産）

【記　　録】鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 2exs..

【備　　考】林内のアオキなどの常緑広葉樹の葉裏に付着していることが多い．殻径 5 mm，殻高 4 mm ほどの丸みのある円錐形で淡黄白色．薄質半透明で光沢がある．幼貝では周縁角が強く，一見別種にみえるが，成貝では周縁が丸くなる．殻形がウスイロシタラガイに似るが，ウスイロシタラガイより一回り大きく，生息地は市街地近くの里山というよりは，山中の林床落葉下になる傾向がある．今回の調査では，鬼ケ城中腹の落葉下に記録しただけである．

56. ウメムラシタラガイ *Sitalina japonica* Habe, 1964（図版 V- 7a- c）（陸産）

【記　　録】涌田後地 , 2017-VII-21, 3exs.; 室津下甲山 , 2018-X-14, 1ex.; 涌田後地真崎付近 , 2018-XI-21, 20exs.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 10exs..

【備　　考】林内の落葉中にすみ，殻径 1.8 mm，殻高 1.2 mm ほどでやや低い円錐形．体層の周縁に 3 本の殻皮質板状褶を有する螺状脈（矢野 , 1990）がある．薄く半透明で，灰白色の殻色．臍孔は狭く開く．山口県内では各地に見られるが，個体数は多くない．今回の調査では，4 ケ所で記録した．環境省 RDB では準絶滅危惧.

57. コシタカシタラガイ *Sitalina circumcincta* (Reinhardt, 1883)（図版 V- 8a- c）（陸産）

【記　　録】川棚クスの森 , 2018-VII-23, 9exs.; 川棚越 , 2018-VII-31. 7exs.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 10exs.; 室津下甲山 , 2018-X-14, 6exs.; 涌田後地真崎付近 , 2018-XI-21, 6exs..

【備　　考】林内の落葉中にすみ，殻径 2 mm，殻高 2.5 mm ほどの螺塔の高い円錐形の殻をもつ．各層に 5 ～ 6 条の螺条脈があり，体層には角をもつ．今回の調査では 5 ケ所で記録したが，各地とも個体数は多かった．

58. カサキビ *Trochochlamys crenulata crenulata* (Gude, 1900)（図版 V- 9a- c）（陸産）

【記　　録】川棚横道中国自然歩道沿道（林床）, 2019-III-1, 5exs..

【備　　考】殻径 3 mm，殻高 4 mm ほどの円錐形の微小貝である．殻頂部が鋭角で，殻頂から周縁にかけてほぼ直線的な円錐形．体層周縁にはキール状の角がある．林内の落葉下に生息する．今回の調査では，横道の中国自然歩道沿道の林床の記録だけだった．

59. キヌツヤベッコウ *Nipponochlamys semisericata* (Pilsbry, 1902)（図版 VI- 1a- c）（陸産）

【記　　録】宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 3exs..

【備　　考】各地の林内落葉下に生息する，殻径 5 mm ほどの低い円錐形の貝．殻表面はやや濃い赤褐色．絹のような鈍い特有の光沢がある．ルーペで観察すると, 殻表に弱い波状の成長線がある．臍孔は閉じる．生息数は少なく，今回の調査でも宇賀鳥井ケ峠で記録しただけだった．環境省 RDB では情報不足．

60. スジキビ *Parakaliella ruida* (Pilsbry, 1901)（図版 VI- 2a- c）（陸産）

【記　　録】宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 1ex..

【備　　考】林内の落葉中に生息する殻径 3.5 mm ほどの微小貝である．殻は丸みのある円錐形で，薄くもろい．殻底には細かい螺条がある．体層周縁は鋭い竜骨状の角がある．各地に分布するが, 個体数は少ない．山口県内での記録は少なく（岩国市，周南市 ; 2019 年 10 月現在），今回の記録が 3 例目となる．今回採取した標本は 1 個体で，破損した個体であるため，同地での完全標本の再発見が期待される．環境省 RDB では準絶滅危惧．

61. ハリマキビ *Parakaliella harimensis* (Pilsbry, 1901)（図版 VI- 3a- c）（陸産）

【記　　録】川棚クスの森 , 2018-VII-23, 1ex.; 涌田後地真崎付近 , 2018-XI-21, 6exs..

【備　　考】林内の落葉下に生息し，殻径 2 mm，殻高 3 mm ほどの微小な貝．淡い黄褐色で丸みのある円錐形をしている．体層の周縁角はキール状で鋭い．臍孔は小さく開く．カサキビやヒメカサキビの幼貝に似るが，螺層に丸みがある点で区別ができる．山口県内での記録は少ない．豊浦町では 2 ヶ所の記録のみである．環境省 RDB では情報不足．

62. ナミヒメベッコウ *Yamatochlamys vaga* (Pilsbry & Hirase, 1877)（図版 VI- 4a- c）（陸産）

【記　　録】鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 1ex..

【備　　考】林内落葉下に生息する殻径 4 mm，殻高 3 mm ほどで，濃い褐色をした濃い円錐形の貝．黄褐色または濃褐色の殻で，表面は光沢がある．周縁には弱い角がある．臍孔は閉じる．山口県見島には，本種の亜種である固有種・ミシマヒメベッコウ *Y. vaga adamsi* Kuroda & Kawamoto, 1956 が生息しているとされてきた．湊ほか（2018）では剖検等詳細な比較検討によって，ミシマヒメベッコウはナミヒメベッコウのシノニム（同種異名）との見解を発表した．今回の調査で，鬼ケ城中腹で採集した 1 個体も，殻の特徴は

豊北町内に生息するナミヒメベッコウ（増野・川野 , 2018）と同じであった.

63. ヒメカサキビ *Trochochlamys subcrenulata subcrenulata* (Pilsbry, 1901)（図版 VI- 5a- c）（陸産）

【記　　録】涌田後地 , 2017-VII-21, 2exs.; 涌田後地真崎付近 , 2018-XI-21, 1ex.; 川棚横道中国自然歩道沿道（林床）, 2019-III-1, 1ex..

【備　　考】森林の落葉中に生息する殻径 3 mm ほどの微小貝である．低円錐形で極めて薄質である．殻表は微細な糸状縦脈と不明瞭な螺状脈が現れ，光沢はない．殻頂角が大きく，殻は全体としてカサキビに比較して低い．周縁角はキール状で鋭い．山口県内の各地に生息する．今回の調査では，6 ケ所から記録した．環境省 RDB では準絶滅危惧.

ベッコウマイマイ科　Family Helicarionidae

64. ウラジロベッコウ *Urazirochlamys doenitzii* (Reinhardt, 1877)（図版 VI- 6a- c）（陸産）

【記　　録】涌田後地 , 2017-VII-21, 4exs.; 鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 1ex.; 川棚クスの森 , 2018-VII-23, 2exs.; 川棚越 , 2018-VII-31, 2exs.; 小串小田丸山墓地付近 , 2018-VIII-22, 1ex.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 10exs.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2018-IX-27, 1ex.; 室津下甲山 , 2018-X-14, 2exs.; 小串犬鳴峠 , 2018-X-14, 1ex.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 1ex..

【備　　考】各地の林内落葉下に生息する，殻径 7 mm ほどの低い円錐形の殻をもつ貝．殻表面は強い光沢がある．縫合に沿って白色の縁がある．殻底の中ほどは白くなる．臍孔は狭いが開く．山口県内各地に普通にみられ，豊浦町内でも各地で記録した.

ナンバンマイマイ科（ニッポンマイマイ科）Family Camaenidae

65. コベソマイマイ *Satsuma* (*Satsuma*) *myomphala myomphala* (Martens, 1865)（図版 VI- 7a- c）（陸産）

【記　　録】室津上椿原 , 2018-VI-21, 1ex.; 宇賀本郷夫婦岩付近沿道（ブッシュ）, 2018-VII-27, 1ex.; 宇賀湯玉鯖釣山 , 2018-IX-27, 4exs.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2019-III-1, 1ex.; 宇賀本郷下峠付近 , 2019-III-18, 1ex.; 室津上御崎近隣谷筋 , 2019-III-18, 1ex.; 室津上丸瀬付近（林床）, 2019-III-18, 3exs.; 小串笠松ノ鼻付近 , 2019-IX-16, 5exs..

【備　　考】市街地周囲から山地まで広い範囲に生息する，大形の陸貝である．殻径 30 mm，殻高 25 mm ほどで，周縁に濃褐色の細い色帯をもつ．殻色は黄褐色で鈍い光沢がある．幼貝の時は臍孔が開くが，成長とともに閉じる．県内各地に普通にみられ，豊浦町でも普通種である．本種は殻のサイズにおいて変異が著しく，大小多多様な個体が観察される．今回の調査では町内各地で記録した.

66. ウスカワマイマイ *Acusta despecta sieboldtiana* (Pfeiffer, 1850)（図版 VI- 8a- c）（陸産）

【記　　録】室津下甲山西海岸（ブッシュ）, 2018-VI-21, 2exs.; 室津上椿原 , 2018-VI-21, 2exs.; 室津上山中 , 2018-VI-21, 1ex.; 黒井杜屋杜屋神社境内 , 2018-VII-21, 1ex.; 吉永北無田（水田土手）, 2018-VII-23, 1ex.; 宇賀本郷（海岸側水田用水路）, 2018-VII-27, 1ex.; 宇賀本郷夫婦岩付近（沿道ブッシュ）, 2018-VII-27, 1ex.; 宇賀 JR 宇賀本郷駅側河口付近 , 2018-VII-31, 1ex.; 小串小田丸山墓地付近 , 2018-VIII-22, 2exs.; 室津上丸瀬付近沿道 , 2019-III-18, 3exs.; 小串笠松ノ鼻付近 , 2019-IX-16, 4exs..

【備　　考】各地の畑や荒れ地など比較的人家に近い場所に，普通に生息する．草藪の根元に群れて生息する．乾燥に強く，潮風を強く受ける海浜植物の根元などにもみられる．殻径 25 mm，殻高 20 mm ほどの丸い円錐形の貝．和名のとおり殻が薄く，成貝になっても殻口は肥厚反転しない．山口県内に広く生息し，豊浦町でも北部から南部まで生息がみられた．江戸時代に長崎でオランダ商館の医師だったシーボルト Philipp Franz Balthasar von Siebold（1796-1866）に因んだ陸貝 2 種のうち，本種の学名に彼の名前が入って

いる（湊 , 1989a）．もう 1 種はシイボルトコギセルである．今回の調査では，11 ケ所で記録した．

67. タキカワオオベソマイマイ *Aegista* (*Aegista*) *friedeliana aperta* (Pilsbry, 1900)（図版 VII- 1a- c）（陸産）

【記　　録】厚母郷鬼ケ城 , 2018-V-21, 3exs.; 鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 1ex.; 川棚クスの森 , 2018-VII-23, 1ex.; 川棚横道八坂（中国自然歩道沿道）, 2019-III-1, 1ex.; 川棚越 , 2019-III-1, 1ex.; 宇賀本郷下峠付近 , 2019-III-18, 1ex.; 室津上丸瀬付近（林床）, 2019-III-18, 1ex.; 室津上御崎近隣浴 , 2019-III-18, 1ex.; 室津上御崎近隣谷筋 , 2019-III-30, 1ex..

【備　　考】里山から山地までの広い範囲の落葉中に生息する，殻径 15 mm，殻高 7 mm ほどの低平な円錐形の貝．殻は濃い黄褐色で堅牢な殻質である．臍孔は広く開く．全体はチクヤケマイマイ *Aegista* (*Plectotropis*) *aemula aemula* (Gude, 1900) に似るが，チクヤケマイマイのように周縁に角はなく丸い．本種はタイプローカリティが下関市吉見町（旧 豊西上村）で，旧下関市豊西上村出身の瀧川昇平（1976 ～ 1943）の採集標本を基に記載された（Pilsbry, 1900; 増野 , 1990b）．山口県内には，殻の大きさをはじめ殻形・殻表面・生殖器等に変異がある個体が生息し，各形質を比較検討するなど現在研究が進められている．かつては，山口県中･西部にタキカワオオベソマイマイが，県東部にコウベマイマイが生息しているとされた（山口県 , 2003）．現在，比較対象となっている近縁種には，九州に分布する基亜種フリーデルマイマイ，近畿以西・四国・九州に広く分布するコウベマイマイ，その亜種である四国に分布するトサマイマイ等である（矢野 , 2015a）．課題解決には，今後の研究を待たなければならない．豊浦町にはタキカワオオベソマイマイが生息している．今回の調査では 9 ケ所から記録した．山口県 RDB では準絶滅危惧.

68. キュウシュウシロマイマイ *Aegista* (*Aegista*) *eumenes eumenes* (Westerlund, 1883)（図版 VII- 2a- f）（陸産）

【記　　録】厚母郷鬼ケ城（480 m 付近）, 2018-V-21, 3exs.; 室津下甲山西海岸（ブッシュ）, 2018-VI-21. 5exs.; 宇賀本郷夫婦岩付近沿道（ブッシュ）, 2018-VII-27, 1ex.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2018-IX-27, 1ex.; 宇賀本郷下峠付近 , 2019-III-18, 2exs.; 室津上御崎近隣谷筋 , 2019-III-18, 2exs.; 室津上丸瀬付近 (林床). 2019-III-18, 14exs.; 川棚宮地嶽神社 , 2019-V-8, 4exs.; 宇賀本郷夫婦岩付近沿道（ブッシュ）, 2019-IX-16, 2exs..

【備　　考】殻径 15 mm，殻高 10 mm ほどの低円錐の形で，殻色が灰白色から淡褐色をした樹上性の貝である. 北九州市平尾台や山口県秋吉台にある石灰岩の草原台地やその周囲の樹林を恰好の生息場所とする．本種の殻色には全面白色の個体に混じって，淡い赤褐色の色帯や殻底面全体が淡く染め分ける型など多様なタイプが見られる．タイプ産地は，北九州市門司である（“Mizu, Kiusiu”: Westerlund, 1883）．一方，殻底を染め分ける型は，和名をソメワケシロマイマイ *Trishoplita cretacea bipartita* (Pilsbry, 1990) として，タイプ産地を下関市吉見町（旧 : 豊西上村 ; “Toyonishikami, Nagato”; Pilsbry, 1990）として記載された．また，本種の生息の東限域は山口県中央部とされている（増野・鳥越 , 2011）．これまでの県内での生息は，県西部は下関市豊北町神田岬付近を北限，美祢市美東町赤を東限，南限を宇部市常盤付近を結ぶラインであることが把握できている（増野 , 未発表）．また，今回の調査では，町内でリシケオトメマイマイ（今回の報告では，リシケオトメマイマイ近似種と表記）と混生がみられた．町内 9 ケ所から記録した．

69. リシケオトメマイマイ近似種 *Aegista* (*Aegista*) sp. cf. *lischkeana* (Kobelt, 1879)（図版 VII- 3a- c）（陸産）

【記　　録】宇賀本郷 , in.（福田・土田 , 1989）; 宇賀本郷夫婦岩付近沿道（ブッシュ）, 2018-VII-27, 1ex.; 川棚横道八坂（中国自然歩道沿道林床）, 2019-III-1, 1ex.; 川棚越 , 2019-III-1, 3exs..

【備　　考】山口県北部の海岸と島嶼部に分布する殻径 13 mm，殻高 9 mm ほどの低い円錐形の貝である．樹上性で草本類の葉上や低木の樹幹をはう．殻は白地に赤褐色の色帯をもち，美しい陸貝である．萩市の指月公園で，旧萩中学校のお雇いドイツ人教師 Hiller（1841 ～ 1903）によって採集された個体を基に，

1879 年に萩市をタイプ産地（“Hagi, Japan”: Kobelt, 1879）として記載された（波部 , 1986; 河上ら , 1990）．福田・土田（1989）は，萩市から下関市（旧 豊田町狗留孫山）までの個体を精査・比較して，本種が形態的にも異なる 2 種を含むことを報告した．それに拠ると長門市（旧 油谷町伊上）付近を境に，東側に軟体部の外套膜上に顕著な黒色火焔彩をもつリシケオトメマイマイが，西側地域の個体には火焔彩が弱く小斑が散在する別の型（福田らは，*Trishoplita* sp. として表記）が分布している．両者を比較すると，リシケオトメマイマイはいくぶん小さい傾向がある．筆者らのこれまでの調査で，リシケオトメマイマイ近似種が，豊田町, 豊北町に生息していることが分かっている（増野・川野 , 2017; 増野・川野 , 2018）．今回の調査では，さらに南下して豊浦町の中部・川棚越までの生息が確認された．なお，本種の分布の南限に関しては，福田らが豊浦町宇賀本郷での記録を基に，「宇賀本郷－吉見間に本種の南限がある」とする見解を示している（福田・土田 , 1989）．また，筆者らは豊北町の報告中で指摘したが（増野・川野 , 2018），県東部の瀬戸内海側の各所でも本種と同じような特徴をもつ *Aegista* sp. が生息している（増野 , 1992b, 2008a, b, d; 増野・阿部 , 2001）．本種との関係が明らかにされることが期待される．今回の報告では，豊浦町で記録した個体をリシケオトメマイマイ近似種とした．環境省 RDB では準絶滅危惧，山口県 RDB では絶滅危惧 IB 類.

70. コハクオナジマイマイ *Bradybaena pellucida* Kuroda & Habe, in Habe, 1953（図版 VII- 4a- c）（陸産）

【記　　録】小串小田丸山墓地付近 , 2018-VIII-22, 6exs.; 川棚横道 , 2019-III-1, 6exs,; 室津上丸瀬付近 , 2019-III-18, 1ex..

【備　　考】人家周辺の畑や沿道の草藪など，比較的市街地に生息する．淡黄褐色の薄い殻をもち，殻径 15 mm，殻高 8 mm ほどの低円錐形の貝．殻が薄いために軟体部が透けて見えるが，殻頂部にある肝すい臓の鮮やかな黄色が特徴的である．また，この鮮やかな黄色は蛍光色をもつことが知られている（Seki *et al.*, 2008）．個体により殻表面の周縁に色帯の有無がある．山口県内に広く生息するが，豊浦町では，3 ケ所で記録した.

71. ツクシマイマイ *Euhadra herklotsi herklotsi* (Martens, 1860)（図版 VII- 5a- i）（陸産）

【記　　録】厚母郷鬼ケ城（約 400 m 付近）, 2018-V-21, 4exs.; 黒井杜屋杜屋神社境内 , 2018-VII-21, 2exs.; 宇賀本郷夫婦岩付近沿道（ブッシュ）, 2018-VII-27, 1ex.; 小串小田丸山墓地付近 , 2018-VIII-22, 1ex.; 宇賀本郷海岸（ブッシュ）, 2018-VII-31, 1ex.; 宇賀湯玉鳥井ケ峠 , 2018-IX-27, 1ex.; 宇賀本郷下峠付近 , 2019-III-18, 1ex.; 室津上丸瀬付近（林床）, 2019-III-18, 4exs.; 小串笠松ノ鼻付近 , 2019-IX-16, 3exs..

【備　　考】里山や山地の林内に生息する，殻径 40 mm，殻高 25 mm ほどの大形低円錐形の貝．地上の落葉上をはっていることも多いが，樹幹や枝に上っていることもある．山口県内に普通に生息する大形種として本種を含め，セトウチマイマイ，コベソマイマイの 3 種がおり，その中でも最大の殻をもつ．黄褐色の殻表面に黒色の色帯の有無など，多様な殻色，模様を呈する．今回の調査では町内の各地から記録した.

タワラガイ科 Family Diapheridae

72. タワラガイ *Sinoennea iwakawa* (Pilsbry, 1900)（図版 VII- 6）（陸産）

【記　　録】鬼ケ城（520 m 付近）, 2018-V-21, 1ex..

【備　　考】殻高 4 mm 前後で，殻が米俵の形をしている．殻の各層にはやや斜めの細い縦肋がある．里山や森林の落葉下に生息するが多産はしない．肉食性で，死んだ貝殻から数個体がまとまって出てきたことがある．今回の調査では，鬼ケ城中腹の林床で 1 個体記録したのみである.

二枚貝綱 Class Bivalvia

イシガイ目 Order Unionoida

イシガイ科 Family Unionidae

73. ニセマツカサガイ *Inversiunio reoniana yanagawaensis* (Kondo, 1982)（図版 VIII- 1a, b）（淡水産）

【記　　録】吉永野田 (用水路), 2018-VII-23, 3exs.; 川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 1ex..

【備　　考】緩やかな流れのある河川の下流域や用水路などの砂泥底にすむ殻長 50 mm，殻高 35 mm ほどの卵円形をした二枚貝．殻質は厚く，表面には後背縁の後端付近が湾入し，殻頂から後端縁にかけて太く低い隆起がある（増田・内山 , 2004）．マツカサガイに酷似する．山口県内では長門市・萩市・山口市・宇部市・下関市豊田町・豊北町などで記録されている．今回の調査では，川棚地域の 2 ケ所の用水路で記録した．環境省 RDB，山口県 RDB ともに絶滅危惧 II 類.

マルスダレガイ目 Order Veneroida

シジミ科 Family Corbiculidae

74. タイワンシジミ *Corbicula fluminea* (Müller, 1774)（図版 VIII- 2a- f）（淡水産）

【記　　録】川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 7exs.; 川棚葉中Ｂ , 2018-VIII-3, 7exs.; 川棚川棚川河口 , 2018-VIII-22, 2exs.; 吉永野田（用水路）, 2019-V-15, 9exs..

【備　　考】在来のマシジミと極めて近縁と考えられ（増田・内山 , 2004; 熊澤ら , 2019），各地の用水路や川に繁殖している．中国・朝鮮半島等から侵入した外来種（増田・内山 , 2004）で，食用のシジミとして輸入され，その稚貝等が野外で繁殖したと考えられる．雌雄同体で卵胎生である．山口県内でも市街地を流れる用水路を中心にマシジミが減少し，本種が拡大している．殻形は似ているが，マシジミの殻色が黒く殻内面が鮮やかな紫色を呈するに対し，タイワンシジミは殻色が黄色く，殻内面全体が白色や橙色を呈することもある．殻形態の差異はあくまでも目安にすぎず，外観からの識別はむずかしい．研究者によっては，マシジミはタイワンシジミのシノニム（同種異名）との見解もある（Morton, 1986; 酒井ほか , 2014）．今回の調査では，川棚地域の 4 ケ所で記録した.

75. ヤマトシジミ *Corbicula japonica* Prime, 1864（図版 VIII- 3a, b）（淡水産）

【記　　録】川棚川棚川河口 , 2018-VIII-22, 5exs..

【備　　考】殻長 20 ～ 30 mm の河口の汽水域から淡水の混じる川底の砂や小石の中に生息する．かつては各地の河口域や干潟で見られたが，近年少なくなった．雌雄異体で水中で受精し，幼生が浮遊生活をする．今日でも，時々，河口域でシジミ漁の光景を見かけることがある．マシジミと混生する場所もあるが，本種はマシジミに比べて殻色が漆黒で光沢があり，内面の白色が強くなる．今回の調査では，川棚川の河口のみで記録した．環境省 RDB では準絶滅危惧.

76. マシジミ *Corbicula leana* Prime, 1864（図版 VIII- 4a- d ）（淡水産）

【記　　録】室津下端 , 2018-V-21, 13exs.; 室津下甲山西龍宮英彦不動院入口付近（用水路）, 2018-VI-21, 13exs.; 黒井 JR 黒井村駅西側（用水路）, 2018-VII-16, 10exs.; 黒井杜屋杜屋神社西側（側溝）, 2018-VII-21, 1ex.; 吉永野田（用水路）, 2018-VII-23, 7exs.; 吉永原（水田用水路）, 2018-VII-23, 1ex.; 川棚葉中Ａ , 2018-VIII-3, 1ex.; 川棚中下（水田用水路）, 2018-VIII-22, 12exs.; 黒井郷杜屋 , 2019-III-18, 1ex..

【備　　考】在来の淡水性二枚貝で，河口域に生息するヤマトシジミとともに，かつては食用にされた．殻長 20 ～ 30 mm で，生息環境によってその大小に多様さが現れる．小河川の流水中や池・沼などの止水域にもすむ．近年，生息適地の減少とともに，外来のタイワンシジミと置き換わり，生息地が少なくなっ

ている．雌雄同体で卵胎生．殻色は若齢個体は黄褐色であるが，成貝では黒褐色を呈する．殻の光沢は，ヤマトシジミに比べると鈍く弱い．殻内面は鮮やかな青紫色．今回の調査では，各地で記録することができた．いくつかの場所で，タイワンシジミとの混生がみられた．環境省 RDB では絶滅危惧 II 類，山口県 RDB では情報不足．

ドブシジミ科 Family Sphaeriidae

77. ドブシジミ *Sphaerium japonicum* (Westerlund, 1883)（図版 VIII- 5a, b）（淡水産）

【記　　録】室津上山中溜池 , 2018-VI-21, 22exs.; 黒井中村 , 2019-III-18, 7exs.; 黒井市 , 2019-III-18, 1ex..

【備　　考】各地の流れの緩やかな水路や池沼，水田などの底泥に生息する．淡い灰褐色の殻で，表面の彫刻は微細で光沢がある．殻 10 mm ほどで殻質は薄いが, 全体がよくふくらむ．卵胎生で稚貝を産み出す．今回の調査では，3 ケ所で記録した．

まとめ

調査の結果, 下関市豊浦町から陸産 15 科 51 種, 淡水産 14 科 26 種, 計 28 科 77 種を記録することができた．レッドデータブック掲載種などの重要種は，サドヤマトガイ（図版 I- 5, 環境省 RDB: 準絶滅危惧 , 山口県 RDB: 絶滅危惧 IA），マルタニシ（図版 II- Ia- c, 環境省 RDB: 絶滅危惧 II, 山口県 RDB: 準絶滅危惧），ホラアナミジンニナ（図版 II- 3, 環境省 RDB: 絶滅危惧 II 類 , 山口県 RDB: 準絶滅危惧），ヒメマルマメタニシ（図版 II- 4, 環境省 RDB: 絶滅危惧 II 類 , 山口県 RDV: 準絶滅危惧），クリイロカワザンショウ（図版 II- 5a- c, 環境省 RDB: 準絶滅危惧），コシダカヒメモノアラガイ（図版 III- 6, 環境省 : 情報不足），ヒラマキミズマイマイ（図版 III- 9a- f, 環境省 RDB: 情報不足）, トウキョウヒラマキガイ（図版 III- 10a-c, 環境省 RDB: 情報不足），クルマヒラマキガイ（図版 III- 11a- c, 山口県 RDB: 絶滅危惧 II 類），ヒラマキガイモドキ（図版 III- 12a- c, 環境省 RDB: 準絶滅危惧）, カワモトギセル（図版 IV- 7, 環境省 RDB: 絶滅危惧 II 類 , 山口県 RDB: 絶滅危惧 II 類），ウメムラシタラガイ（図版 V- 7a- c, 環境省 RDB: 準絶滅危惧），キヌツヤベッコウ（図版 VI- 1a- c, 環境省 RDB: 情報不足），スジキビ（図版 VI- 2a- c, 環境省 RDB: 準絶滅危惧），ヒメカサキビ（図版 VI-5a- c, 環境省 RDB: 準絶滅危惧），タキカワオオベソマイマイ（図版 VII- 1a- c, 山口県 RDB: 準絶滅危惧），リシケオトメマイマイ近似種（図版 VII- 3a- c, 環境省 RDB: 準絶滅危惧種 ; 山口県 RDB: 絶滅危惧 IB 類），ニセマツカサガイ（図版 VIII- 1a, b, 環境省 RDB: 絶滅危惧 II 類 ; 山口県 RDB: 絶滅危惧 II 類），ヤマトシジミ（図版 VIII- 3a, b, 環境省 RDB: 準絶滅危惧），マシジミ（図版 VIII- 4a- d, 環境省 RDB: 絶滅危惧 II 類 , 山口県 RDB: 情報不足）の 20 種であった．

謝　辞

本稿を作成するにあたり，矢野重文氏（日本貝類学会評議員）には同定作業や貴重な情報提供などにおいて懇切丁寧にご教示をいただきました．湊　宏氏（日本貝類学会名誉会員，理学博士）には原稿を細部にわたり査読し，誤りを指摘・助言をいただきました．宮崎晋介氏にはキセルガイ類に関して助言をいただきました．各氏に対し心より感謝申し上げます．また，直接，貴重な情報や記録の提供を受けた方や，文献上の記録を引用させていただいた多くの方に対しましても，ここに記してお礼を申し上げます．

参考文献

東　正雄（1995）原色日本陸産貝類図鑑（増補改訂版）. xvi+ 343pp.+ 80pls. 保育社 , 大阪 .

東　良雄（2001）兵庫県南東部で確認されたハズレミジンヤマタニシ . ちりぼたん , **32**(1-2): 35.

波部忠重（1986）貝類研究採集者列伝（65）ヒレル . ちりぼたん , **17**(3- 4): 101- 102.

波部忠重（1990）日本産非海産水棲貝類目録（その 1 ～ 3）. ひたちおび , (54): 3-6, (55): 3-9, (56): 3-7. 東京貝類同好会 .

Hori Shigeo, Fukuda Toshikazu, Hosaka Ken-ichi, Mashino Kazuyuki and Koda Ikuyo（1997）On the populations of *Hoppeutis cantori* (Benson, 1850), a vulnerable freshwater snail (Branehiopulmonata: Planorbidae) in Yamaguchi Prefecture, Japan. *The Yuriyagai*: *Journal Malacozoological Association of Yamaguchi*, 5(1/2): 61- 68.

保坂健市（1996）山口県宇部市で 1996 年に採集された移入非海産腹足類 3 種 . ユリヤガイ , **4**(1/2): 191- 194.

福田　宏（2002）徳地町の貝類（pp.60-67）in 徳地の自然 . 101pp., 徳地町文化協会 , 山口徳地 .

福田　宏・土田英治（1989）リシケオトメマイマイの再発見とその分布 . ちりぼたん , **19**(4), 97-104.

福田　宏・増野和幸・杉村智幸（1992）概説 山口県の貝類 .; 99+ 50pls.+ i- xxxi. 山口県立山口博物館 , 山口 .

福田敏一（1990）徳地町島地におけるヒメマルマメタニシの生息状況 . ユリヤガイ , **1**: 10.

福田敏一（1995）第 7 章 貝類 (pp. 115- 126) in 山口県の貴重な野生生物 . 136pp., 山口県野生生物保全対策検討委員会 , 山口 .

藤原廣治 (1970　豊北町の周辺，角島の貝類 , 山口県の自然 . **20**: 45- 48.

加藤繁富（1993）淡水産貝類（pp. 88- 97）in 動植物分布調査報告書（陸産及び淡水産貝類）. 165pp., 環境庁自然保護局 , 東京 .

環境省（2017）環境省レッドリスト 2017 補遺資料掲載種一覧 別添資料 1. http://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/MOEredlist2017_betten1.pdf.

環境省（2019）環境省レッドリスト 2019 別添資料 2 貝類 .https://www.env.go.jp/press/files/jp/110615..pdf.

狩野泰則・後藤好正（1996）横浜市の陸産貝類 . 神奈川自然保全研究会報告書 , (14): 43- 106.

Yasunori Kano, Hiroshi Fukuda, Hiroshi Yoshizaki, Miyoko Saito, Ken-ichi Hosaka, Tomoyuki Sugimura, Yasuko F. Ito, Hiroji Fujiwara, Yasuhiro Nakanura, Kazuyuki Mashino, Kenji Ito, Kunihiko Tone, Toshikazu Fukuda, Teruhisa Mitoki, Hiroyoshi Yamashita, Shigeo Hori, Kotoe Hori and Hisasuke Hori.（2001）Distribution and seasonal maturation of the alien slug *Lehmannia valentiana* (Gastropoda: Pulmonata: Limacidae) in Yamaguchi Prefecture, Japan. *The Yuriyagai*: *Journal of The Malacozoological Association of Yamaguchi*, **8**(1): 1- 13.

狩野泰則ら（2002）外来種チャコウラナメクジ（腹足綱 : 有肺目 : コウラナメクジ科）の山口県における分布と成熟度の季節変化 . ユリヤガイ , **8**(1): 1- 13

河上　勲・増野和幸・下瀬信雄・吉屋安隆・樋口尚樹・清水満幸（1990）カタツムリの不思議ー萩地方の陸産貝ー . 2+85pp. +2pls. +1map., 萩市郷土博物館 , 萩 .

河本卓介（1964）下関市吉見地区の貝類 . 山口県の自然 , **12**: 22-31.

河本卓介・田邊澄生（1956）山口県産貝類目録 . 8+ viii+ 170pp., (25 pls. を含む), 山口県立山口博物館 , 山口 .

木村昭一（2014）萩市笠山のミジンヤマタニシの異常巻き個体 . かきつばた , (39): 47-48.

熊澤慶伯・松原美恵子・横山悠理・寺本匡寛・村瀬幸雄・那須健一郎・孫　垚・森山昭彦・川瀬基弘（2019）名古屋市産淡水貝類の DNA バーコーディング . なごやの生物多様性 . **6**: 1- 14.

黒住耐二（2012）トクサオカチョウジガイ（p. 203-204）. in 原色図鑑 外来害虫と移入天敵（404pp.）, 全国農村教育会 , 東京 .

黒田徳米・瀧　　巖（1944）中国地方の新陸産貝類（2）, キセルガヒ類 . *Venus*, **13**(5-8): 228- 236.

黒田徳米・波部忠重（1949）かたつむり（Helicacea）. 129pp., 三明社 . 東京 .

黒田徳米・波部忠重（1957）日本の洞窟並び地下水産巻貝類 . *Venus*, **19**(3/4): 183-196.

黒田徳米（1958）日本及び隣接地域産陸棲貝類相 (4). *Venus*, **20**(1): 132- 158.

Kobelt, W.（1879）*Helix lischkeana*. in : Fauna molluscorum extramarionorum Japoniae, nach den von Prof. Rein gemachten sa mmlungen bearbeitet von Dr. W. Kobelt. *Abhandlungen d. Senckenberg. Natur. Gessellsch*. **11**: 56, Taf. 7, f. 16.

増野和幸（1989）美祢郡陸産ならびに淡水産貝類 . 57pp. (oncld. 8pls.). 自刊（印刷）. 山口小郡 .

増野和幸（1990a）下関市蓋井島の陸産貝類 . 山口県の自然 , **50**: 36-38.

増野和幸（1990b）山口の貝人伝（1）瀧川昇平氏（1876-1943）. ユリヤガイ , **1**: 35-36.

増野和幸（1992a）豊北町角島の非海産貝類 . ユリヤガイ , **2**: 1-8.

増野和幸（1992b）上関町皇座山に生息するオトメマイマイ属の一種 . ユリヤガイ , **2**: 14.

増野和幸（1992c）オオクビキレガイ山口県に産す . ちりぼたん , **22**(2): 55- 56.

増野和幸（2008a）山口県田布施町の非海産貝類 . 山口県の自然 , **68**: 16-23.

増野和幸（2008b）山口県熊毛郡平生町の非海産貝類相 . 山口生物 , **30**: 26-51.

増野和幸（2008c）移入種オオクビキレガイの山口県での生息状況 . 山口県の自然 , **68**: 24-27.

増野和幸（2008d）自然観察ガイドブック作成のための基礎資料 上関町の非海産貝類 . i-iii+ 42pp., 自刊（印刷）, 山口 .

増野和幸（2018）山口県全域に拡大した外来種 オオクビキレガイ *Rumina decollate*. 山口生物 , **38**: 27-32.

増野和幸・阿部弘和（2001）山口県熊毛郡上関町長島および八島の非海産貝類 . 山口生物 , **27**: 3-16.

増野和幸・川野敬介（2017）下関市豊田町の陸産・淡水産貝類 . 豊田ホタルの里ミュージアム研究報告書 , (9): 7-49.

増野和幸・川野敬介（2018）下関市豊北町の陸産・淡水産貝類 . 豊田ホタルの里ミュージアム研究報告書 , (10): 51-84.

増田　修（2002）サカマキガイ（p. 172）. in「外来種ハンドブック」（390pp.）, 地人書館 , 東京 .

増田　修・内山りゅう（2004）日本産淡水貝類図鑑 ②汽水域を含む全国の淡水貝類 . 240pp., 株式会社ビーシーズ , 東京 .

松隈明彦・秋月定良・秋月シズカ・嶺井久勝（2006）偶発的移入種オオクビキレガイ（腹足綱：オオクビキレガイ科）の福岡県での生息状況とその拡散速度 . ちりぼたん , **37**(1): 7-12.

湊　　宏（1980）陸産貝類の観察と研究 . 85pp., ニュー・サイエンス社 , 東京 .

湊　　宏（1988）日本陸産貝類総目録 . 294pp., 日本陸産貝類総目録刊行会 , 白浜 .

湊　　宏（1989）シーボルトコギセルガイ . 日本の生物 , **3**(5): 48-54.

湊　　宏（1994）日本産キセルガイ科貝類の分類と分布に関する研究 . *Venus*, Supplement 2 : 212pp. + tables 6 +plates 74. 日本貝類学会 .

湊　　宏・魚住賢司（1991）北九州で見つかったオオクビキレガイ . ちりぼたん , **22**(3): 73- 74.

湊　　宏・増田　修（1998）日本産野生生物目録（44）, 軟体動物門 : マキガイ綱（腹足綱）, ニマイガイ綱（二枚貝綱）.（pp. 25-48）. in「環境庁（編）：日本産野生生物目録－本邦野生動物の種の現状－」. 49pp., 自然環境研究センター , 東京 .

湊　　宏・増野和幸・矢野重文（2018）山口県萩市の見島産 “ ミシマヒメベッコウ ”（シタラ科）の生殖器形態とその分類知見 . 南紀生物 , **60**(1): 63- 66.

Morton, B.（1986）Corbicula in Asia – an updated synthesis. *American Malacological Bulletin, Special Edition* (2): 113-124.

日本生態学会（2002）外来種ハンドブック . 390pp., 地人書館 . 東京 .

岡藤五郎（1977）アキヨシホラアナミジンニナについて . ちりぼたん , **9**(5): 105- 109.

岡藤五郎・初鹿　了（1979）*Bythinella* 属貝の山口県西部における分布状況 . 日本医事新報 , **2891**: 31- 34.

岡山県環境文化部自然環境課（2009）岡山県レッドデータブック 2009. http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/sizen/reddatabook/index.html, 岡山県 .

Pilsbry, H. A.（1900a）*Trishoplita cretacea* var. *bipartita*. in: Notices of some new Japanese land snails. *Nautilus*, **14**(9): 107.

Pilsbry, H. A.（1900b）*Clausilia harimensis*. in: Notices of some new Japanese land snails. *Nautilus*, **14**(9): 108.

Pilsbry, H. A.（1900c）*Eulota* (*Aegista*) *aperta*: in:Addition to the Japanese land fauna. *Proc. Acad.Nat.Sci. Philadelfia.* **51**（1899）: 525- 530, pl. 21, fig. 7- 9.

Pilsbry, H. A.（1900d）*Clausilia subaurantica*. in: Additions to the Japanese Land snail fauna III. *Proc. Acad. Nat. Sci. Philadelphia*. **52**: 444- 445, pl. 14, fig. 5- 7.

酒井治己・高橋俊雄・古丸　明（2014）日本産マシジミおよび外来タイワンシジミ類のアロザイム変異と淡水シジミ類の多様性 . *Venus*, **72**(1-4): 109- 121.

豊浦町史編纂委員会（1979）豊浦町史 . 988pp., 豊浦町 .

豊浦町史編纂委員会（1982）豊浦町史二 . 1299., 豊浦町 .

山口県（2003）レッドデータブックやまぐち（貝類）. 2pls.+ 55pp. 山口県環境生活部自然保護課 , 山口 .

山口県環境生活部自然保護課（2019）レッドデータブックやまぐち 2019 ー山口県の絶滅のおそれのある野生生物ー（Web 版）. https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/rdb/site/index.php.

山口　昇・波部忠重　（1958）日本産ナメクジ数の研究（１）. *Venus,* **18**(4): 234- 240.

山下博由・福田　宏（1996）サナギガイの殻形態と分布（腹足綱 : 柄眼目 : サナギガイ科）. ユリヤガイ , **4**(1/2): 169- 177.

矢野重文（1990）四国新記録の陸産貝類 (I) 1 ーヒラシタラー . まいご , (4): 20- 23.

矢野重文（2008）魚住賢司さんの想い出 . 九州の貝 , (70): 5- 11.

矢野重文（2015a）九州本土及びその周辺（トカラ列島以北）に生息するムシオイガイ類 . 九州の貝 , (84): 3- 13.

矢野重文（2015b）種の考察（分布図からのアプローチ）. まいご ,（22): 21- 31.

矢野重文・増田　修（1999）西日本におけるウスイロオカチグサの記録 . ちりぼたん , **30**(1): 9- 12.

下関市豊浦町の陸産・淡 水産貝類のリスト

腹足綱 Class Gastropoda

アマオブネガイ目 Order Cycloneritimorpha

アマオブネガイ科 Family Neritidae

1. イシマキガイ *Clithon retropictum* (Martens, 1879)
2. カノコガイ *Clithon sowerbianus* Récluz, 1842

新生腹足目（中腹足目） Order Caenogastropoda

ヤマタニシ科 Family Cyclophoridae

3. ヤマタニシ *Cyclophorus herklotsi* Martens, 1860
4. アツブタガイ *Cyclotus campanulatus campanulatus* Martens, 1865
5. サドヤマトガイ *Japonia sadoensis* Pilsbry & Hirase, 1903 環境省（準絶滅危惧）山口県（絶滅危惧 IA 類）
6. ミジンヤマタニシ Nakadaella micron (Pilsbry, 1900)
7. ヤマグルマガイ *Spirostoma japonicum japonicum* (A. Adams, 1867)
8. ピルスブリムシオイガイ *Dicharax pilsbryi* (Kobelt, 1902)

ゴマガイ科 Family Diplommatinidae

9. キュウシュウゴマガイ *Diplommatina* (*Sinica*) *tanegashimae kyusyuensis* Pilsbry et Hirase, 1904

タニシ科 Familiy Viviparidae

10. マルタニシ *Cipangopaludina chinensis laeta* (Martens, 1860) 環境省（絶滅危惧 II 類）山口県（準絶滅危惧）

クビキレガイ科 Family Truncatellidae

11. ヤマトクビキレ *Truncatella pfeifferi* Martens, 1860

ヌマツボ科 Family Amnicolidae

12. ホラアナミジンニナ *Moria nipponica* (Mori, 1937) 環境省（絶滅危惧 II 類）山口県（準絶滅危惧）

エゾマメタニシ科 Family Bithyniidae

13. ヒメマルマメタニシ *Gabbia kiusiuensis* (S. Hirase, 1927) 環境省（絶滅危惧 II 類）山口県（準絶滅危惧）

カワザンショウガイ科 Family Assimineidae

14. クリイロカワザンショウ *Angustassiminea castanea* (Westerlund, 1883)　環境省（準絶滅危惧）
15. サツマクリイロカワザンショウ *Angustassiminea satsumana* (Habe, 1942)
16. カワザンショウガイ *Assiminea lutea japonica* Martens, 1877
17. ウスイロオカチグサ *Solenomphala debilis* (Gould, 1859)
18. オオウスイロヘソカドガイ *Paludinella tanegashimae* (Pilsbry, 1924)

カワニナ科 Family Pleuroceridae

19. カワニナ *Semisulcospira libertina* (Gould, 1859)
20. チリメンカワニナ *Semisulcospira reiniana* (Brot, 1876)

有肺目 Order Pulmonata

オカミミガイ科 Family Elbbidae

21. ハマシイノミガイ *Melampus castaneus* (Megerle von Mühlfeld, 1816)

サカマキガイ科　Family Physidae

22. サカマキガイ *Physa acuta* Draparnand, 1805

モノアラガイ科 Family Lymnaeidae

23. ヒメモノアラガイ *Galba ollula* (Gould, 1859)

24. コシダカヒメモノアラガイ *Fossaria truncatula* (Müller, 1774) 環境省（情報不足）

25. モノアラガイ近似種 *Radix* sp. cf. *auricularia* (Linnaeus, 1758)

26. ハブタエモノアラガイ *Pseudosuccinea columella* (Say, 1817)

ヒラマキガイ科　Family Planorbidae

27. ヒラマキミズマイマイ *Gyraulus chinensis spirillus* (Gould, 1859) 環境省（情報不足）

28. トウキョウヒラマキガイ *Gyraulus tokyoensis* (Mori, 1938) 環境省（情報不足）

29. クルマヒラマキガイ（レンズヒラマキガイ）*Hippeutis cantori* (Benson, 1850) 山口県（絶滅危惧 II 類）

30. ヒラマキガイモドキ *Polypylis hemisphaerula* (Benson, 1842) 環境省（準絶滅危惧）

カワコザラガイ科 Family Ferrissiidae

31. カワコザラガイ *Laevapex nipponica* (Kuroda in Is. Taki, 1860)

後鰓亜綱 Class Opisthobranchoa

マイマイ目（柄眼目）Order Stylo mmatophora

マキゾメガイ科 Family Acanthinulidae

32. マルナタネガイ *Parazoogenetes orcula* (Benson, 1850)

ミジンマイマイ科 Family Valloniidae

33. ミジンマイマイ *Vallonia pulchellula* (Heude, 1882)

キセルガイ科 Family Clausiliidae

34. スグヒダギセル *Paganizaptyx stimpsoni subgibbera* (Boettger, 1877)

35. ナミギセル *Stereophaedusa* (*Stereophaedusa*) *japonica japonica* (Crosse, 1871)

36. シリオレギセル *Megalophaedusa* (*Tyrannophaedussoides*) *bilabrata* (Smith, 1876)

37. カワモトギセル *Tyrannophaedusa* (*Decolliphaedusa*) *kawamotoi* Kuroda et Taki, 1944 環境省（絶滅危惧 II 類）山口県（絶滅危惧 II 類）

38. キュウシュウナミコギセル *Tauphaedusa subaculus* (Pilsbry, 1902)

39. シイボルトコギセル *Reinia sieboldii* (L. Peiffer, 1848)

オカクチキレガイ科（オカチョウジガイ科）Family Subulinidae

40. オカチョウジガイ *Allopeas clavulinum* Potilz et Michaud, 1838

41. ユウドオカチョウジガイ近似種 *Allopeas* sp. cf. *heudei* (Pilsbry, 1906)

42. トクサオカチョウジガイ *Paropeas achatinaeum* (Pfeiffer, 1846)

43. ホソオカチョウジガイ *Allopeas pyrgula* (Schmacker et Boettger, 1891)

44. オオクビキレガイ *Rumina decollata* (Linnaeus, 1758)

ナタネガイ科 Family Punctidae

45. ヒメナタネガイ *Punctum amblygonum pretiosum* Gude, 1900

46. ミジンナタネガイ *Punctum atomus* Pilsbry & Hirase, 1904

47. ハリマナタネガイ *Punctum japonicum* Pilsbry, 1900

ナメクジ科　Family Philomycidae

48. ヤマナメクジ *Meghimatium fruhstorferi* (Collinge, 1901)

コウラナメクジ科　Family Limacidae

49. チャコウラナメクジ *Ambigolimax valentiana* (Férussac, 1821)

シタラ科　Family Euconulidae

50. キビガイ *Gastrodontella stenogyra* (A. Adams, 1868)
51. ツノイロヒメベッコウ *Ceratochlamys ceratodes* (Gude, 1900)
52. ヒメベッコウ *Discoconulus sinapidium* (Reinhardt, 1877)
53. ヤクシマヒメベッコウ *Discoconulus yakuensis* (Pilsbry, 1902)
54. ウスイロシタラガイ *Parasitala pallida* (Pilsbry, 1902)
55. マルシタラガイ *Parasitala reinhardti* (Pilsbry, 1900)
56. ウメムラシタラガイ *Sitalina japonica* Habe, 1964 環境省（準絶滅危惧）
57. コシタカシタラガイ *Sitalina circumcincta* (Reinhardt, 1883)
58. カサキビ *Trochochlamys crenulata crenulata* (Gude, 1900)
59. キヌツヤベッコウ *Nipponochlamys semisericata* (Pilsbry, 1902) 環境省（情報不足）
60. スジキビ *Parakaliella ruida* (Pilsbry, 1901) 環境省（準絶滅危惧）
61. ハリマキビ *Parakaliella harimensis* (Pilsbry, 1901)
62. ナミヒメベッコウ *Yamatochlamys vaga vaga* (Pilsbry et Hirase, 1877)
63. ヒメカサキビ *Trochochlamys subcrenulata subcrenulata* (Pilsbry, 1901) 環境省（準絶滅危惧）

ベッコウマイマイ科　Family Helicarionidae

64. ウラジロベッコウ *Urazirochlamys doenitzii* (Reinhardt, 1877)

ナンバンマイマイ科（ニッポンマイマイ科） Family Camaenidae

65. コベソマイマイ *Satsuma* (*Satsuma*) *myomphala myomphala* (Martens, 1865)
66. ウスカワマイマイ *Acusta despecta sieboldtiana* (Pfeiffer, 1850)
67. タキカワオオベソマイマイ *Aegista* (*Aegista*) *friedeliana aperta* (Pilsbry, 1900) 山口県（準絶滅危惧）
68. キュウシュウシロマイマイ *Aegista eumenes eumenes* (Westerlund, 1883)
69. リシケオトメマイマイ近似種 *Aegista* (*Aegista*) sp. cf. *lischkeana* (Kobelt, 1879) 環境省（準絶滅危惧）山口県（絶滅危惧 IB）
70. コハクオナジマイマイ *Bradybaena pellucida* Kuroda et Habe, in Habe, 1953
71. ツクシマイマイ *Euhadra herklotsi herklotsi* (Martens, 1860)

タワラガイ科　Family Diapheridae

72. タワラガイ *Sinoennea iwakawa* (Pilsbry, 1900)

二枚貝綱 Class Bivalvia

イシガイ目 Order Unionoida

イシガイ科　Family Unionidae

73. ニセマツカサガイ *Inversiunio yanagawaensis* (Kondo, 1982) 環境省（絶滅危惧 II 類）山口県（絶滅危惧 II 類）

マルスダレガイ目 Order Veneroida

シジミ科 Family Corbiculidae

74. タイワンシジミ *Corbicula fluminea* (Müller, 1774)
75. ヤマトシジミ *Corbicula japonica* Prime, 1864 環境省（準絶滅危惧）
76. マシジミ *Corbicula leana* Prime, 1864 環境省（絶滅危惧 II 類）山口県（情報不足）

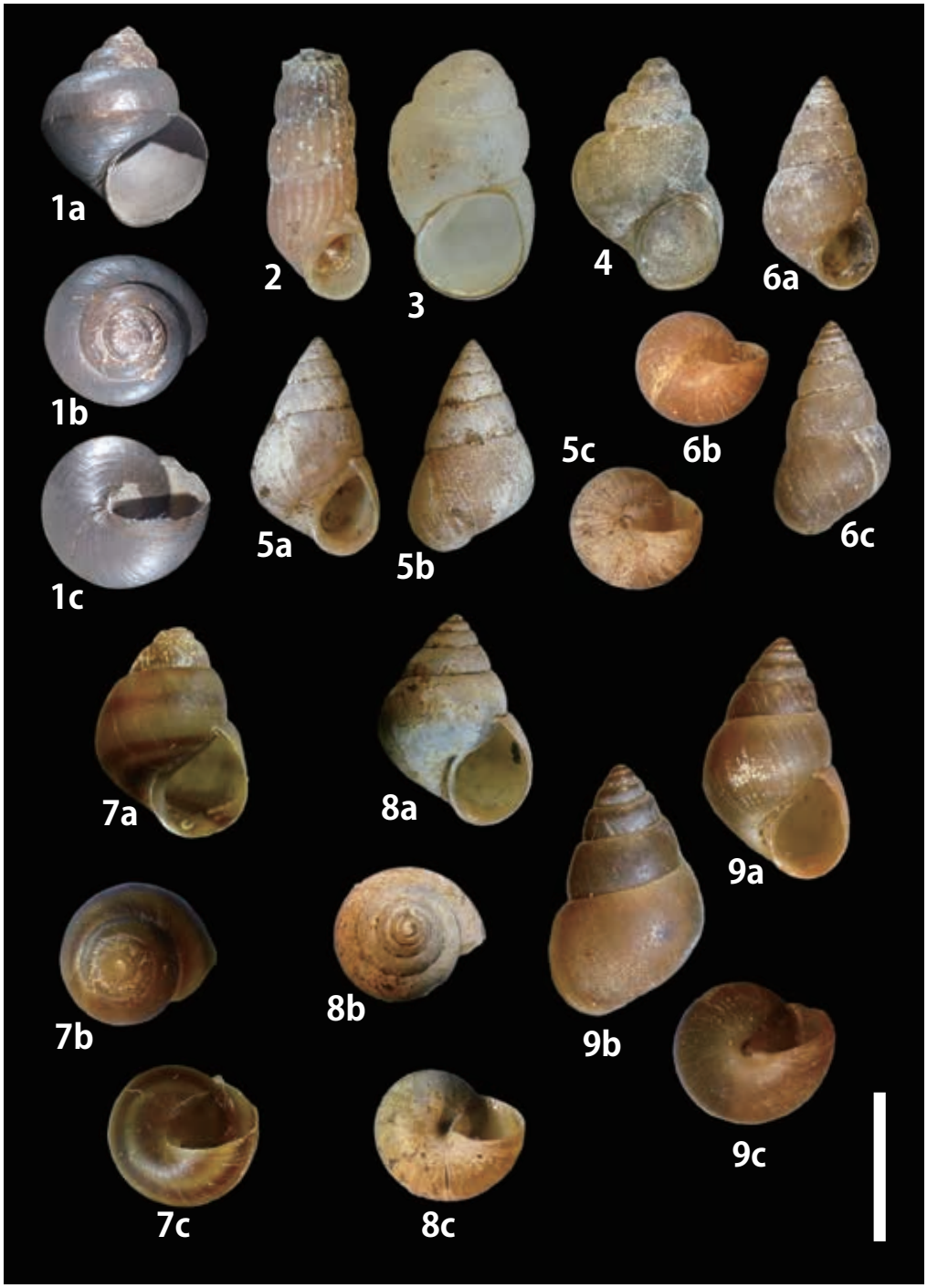
ドブシジミ科 Family Spheridae

77. ドブシジミ *Sphaerium japonicum* (Westerlund, 1883)

図版I（Plate I）

1a–c. イシマキガイ（川棚川河口）［Scale bar: 20.6 mm］; 2a–c. カノコガイ（涌田後地）［S.b.: 12.6 mm］; 3a–c. ヤマタニシ（鬼ケ城）［S.b.: 19.6 mm］; 4a–c. アツブタガイ（鬼ケ城）［S.b.: 12.5 mm］; 5. サドヤマトガイ（宇賀湯玉鳥井ケ峠）［S.b.: 3.9 mm］; 6a–c. ミジンヤマタニシ（川棚越）［S.b.: 1.4 mm］; 6d–f. ミジンヤマタニシ（逆旋型）（川棚横道）［S.b.: 1.5mm］; 7a–c. ヤマクルマガイ（川棚越）［S.b.: 12.7 mm］; 8a–c. ピルスブリムシオイガイ（川棚越）［S.b.: 3.1 mm］; 9. キュウシュウゴマガイ（鬼ケ城）［S.b.: 1.8 mm］.

図版II (Plate II)

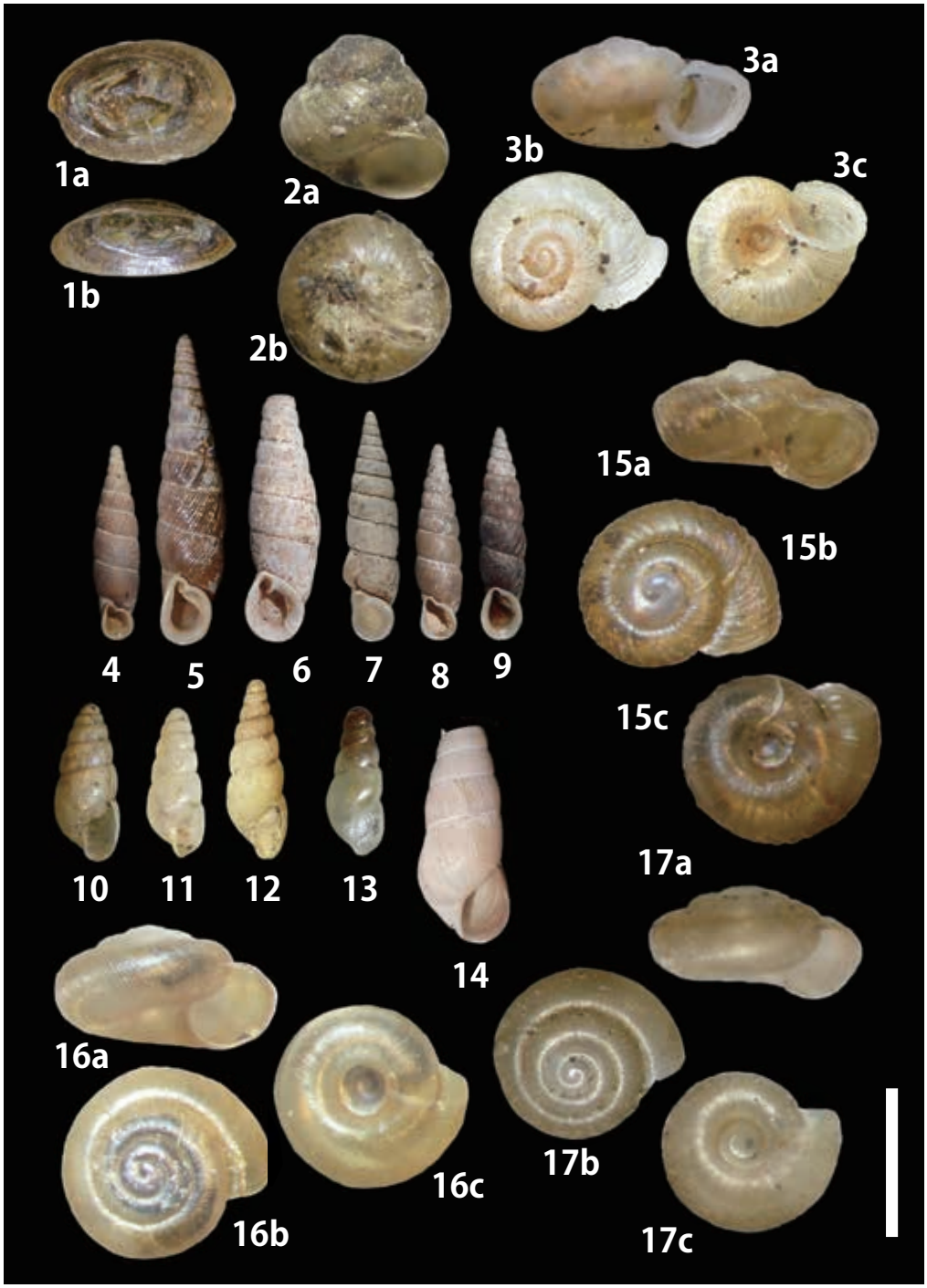


1a–c. マルタニシ（吉永野田） [S.b.: 17.1 mm]；2. ヤマトクビキレ（涌田海岸） [S.b.: 4.2 mm]；3. ホラアナミジンニナ（川棚奥畑） [S.b.: 0.9 mm]；4. ヒメマルマメタニシ（吉永北無田） [S.b.: 3.2 mm]；5a–c. クリイロカワザンショウ（涌田後地） [S.b.: 4.5 mm]；6a–c. サツマクリイロカワザンショウ（涌田後地） [S.b.: 3.4 mm]；7a–c. カワザンショウガイ（川棚川河口） [S.b.: 4.9 mm]；8a–c. ウスイロオカチグサ（黒井杜屋） [S.b.: 4.8 mm]；9a–c. オオウスイロヘソカドガイ（宇賀本郷） [S.b.: 4.6 mm].

図版III (Plate III)

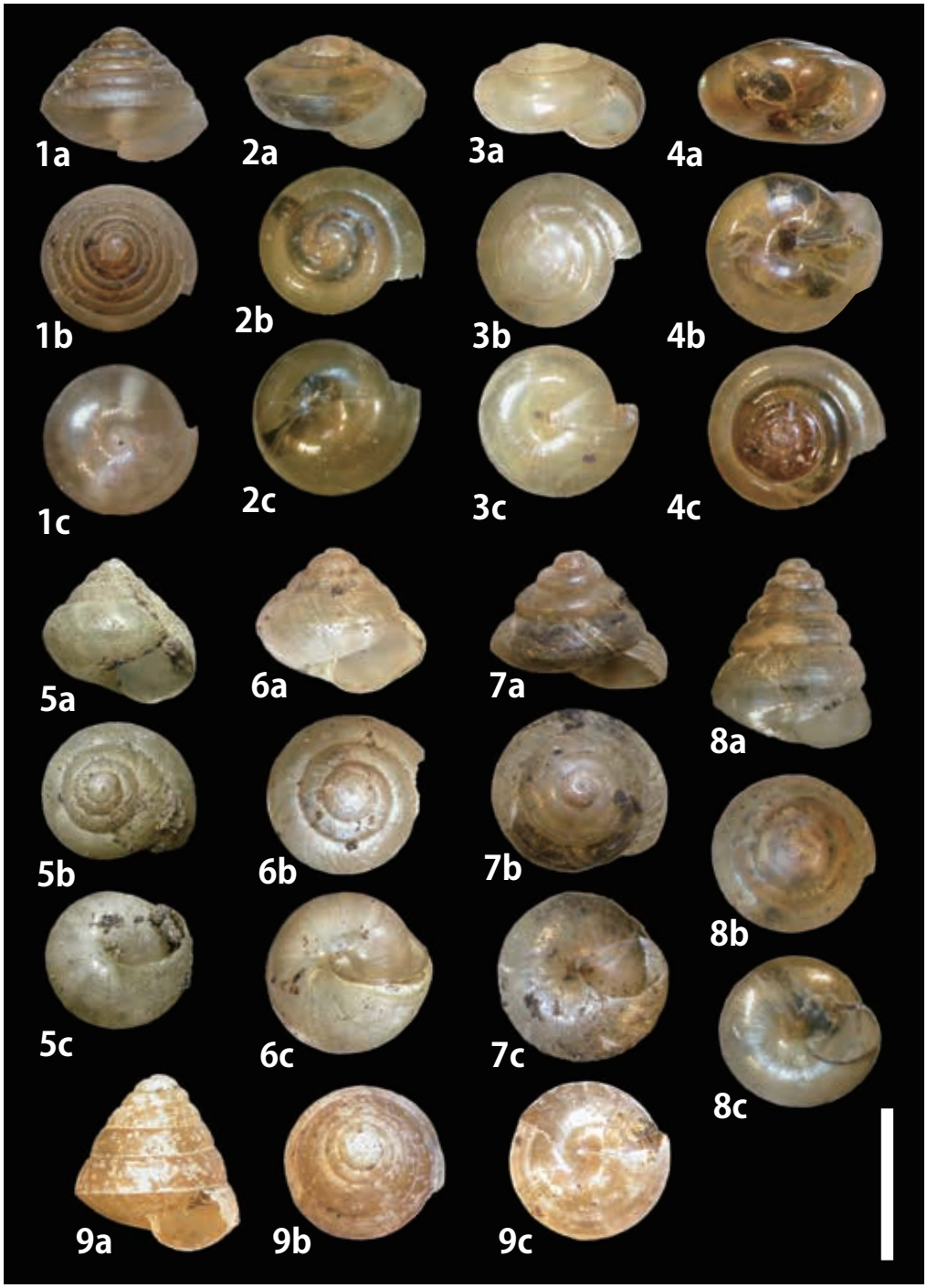
1a. カワニナ（室津下） [S.b.: 14.7 mm]；1b. カワニナ（ミスジカワニナ型）（川棚奥畑） [S.b.: 13.1 mm]；2. チリメンカワニナ（宇賀本郷） [S.b.: 2.9 mm]；3. ハマシイノミガイ（涌田後地） [S.b.: 6 mm]；4. サカマキガイ（黒井中村） [S.b.: 4.3 mm]；5. ヒメモノアラガイ（宇賀本郷） [S.b.: 5.4 mm]；6. コシダカヒメモノアラガイ（吉永北無田） [S.b.: 3.1 mm]；7. モノアラガイ近似種（吉永野田） [S.b.: 9.7 mm]；8. ハブタエモノアラガイ（室津上山中） [S.b.: 4.8 mm]；9a–c. ヒラマキミズマイマイ（宇賀豊原） [S.b.: 2.5 mm]；9d–f. ヒラマキミズマイマイ（宇賀本郷） [S.b.: 3.5 mm]；10a–c. トウキョウヒラマキガイ（川棚上畔） [S.b.: 3.4 mm]；11a–c. クルマヒラマキガイ（黒井杜屋） [S.b.: 4.5 mm]；12a–c. ヒラマキガイモドキ（黒井杜屋） [S.b.: 3.6 mm].

図版IV (Plate IV)



1a–b. カワコザラガイ（黒井杜屋） [S.b.: 2.2 mm]；2a–b. マルナタネガイ（宇賀湯玉鳥井ケ峠） [S.b.: 1.7 mm]；3a–c. ミジンマイマイ（小串犬鳴峠） [S.b.: 1.6 mm]；4. スグヒダギセル（黒井杜屋） [S.b.: 10.1 mm]；5. ナミギセル（室津上椿原） [S.b.: 13.7 mm]；6. シリオレギセル（宇賀） [S.b.: 13.3 mm]；7. カワモトギセル（川棚横道八坂） [S.b.: 11.8 mm]；8. キュウシュウナミコギセル（小串小田） [S.b.: 9.1 mm]；9. シイボルトコギセル（川棚台） [S.b: 12.7 mm]；10. オカチョウジガイ（黒井杜屋） [S.b.: 6 mm]；11. ユウドオカチョウジガイ（涌田後地） [S.b.: 6.5 mm]；12. トクサオカチョウジガイ（小串小田） [S.b.: 7.2 mm]；13. ホソオカチョウジガイ（小串犬鳴峠） [S.b.: 4.3 mm]；14. オオクビキレガイ（涌田後地） [S.b.: 17.2 mm]；15a–c. ヒメナタネガイ（小串犬鳴峠） [S.b.: 1.5 mm]；16a–c. ミジンナタネガイ（涌田後地真崎） [S.b.: 1.5 mm]；17a–c. ハリマナタネガイ（涌田後地真崎） [S.b.: 1.9 mm].

図版V（Plate V）

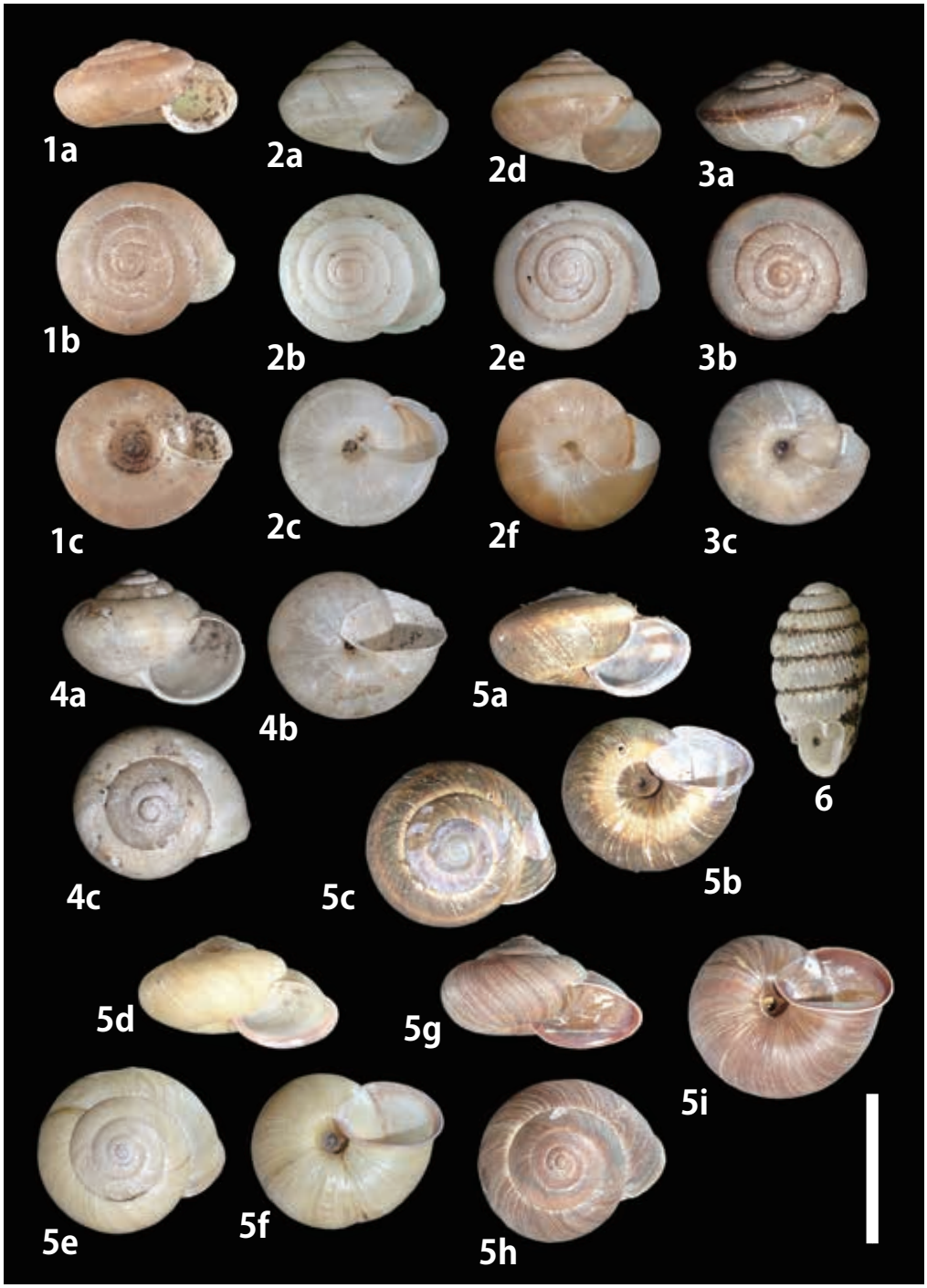


1a–c. キビガイ（本郷湯玉鳥井ケ峠）［S.b.：1.9 mm］；2a–c. ツノイロヒメベッコウ（川棚越）［S.b.：3 mm］；3a–c. ヒメベッコウ（川棚台）［S.b.：1.4 mm］；4a–c. ヤクシマヒメベッコウ（川棚越）［S.b.：2 mm］；5a–c. ウスイロシタラガイ（本郷湯玉鳥井ケ峠）［S.b.：3.1 mm］；6a–c. マルシタラガイ（鬼ケ城）［S.b.：2.7 mm］；7a–c. ウメムラシタラガイ（涌田後地真崎）［S.b.：1.5 mm］；8a–c. コシタカシタラガイ（涌田後地真崎）［S.b.：1.7 mm］；9a–c. カサキビ（川棚横道）［S.b.：2.5 mm］.

図版VI (Plate VI)

1a–c. キヌツヤベッコウ（宇賀湯玉鳥井ケ峠） [S.b.: 4.7 mm]；2a–c. スジキビ（宇賀湯玉鳥井ケ峠） [S.b.: 2.7 mm]；3a–c. ハリマキビ（川棚台） [S.b.: 2.1 mm]；4a–c. ナミヒメベッコウ（鬼ケ城） [S.b.: 3.4 mm]；5a–c. ヒメカサキビ（川棚台） [S.b.: 2.6 mm]；6a–c. ウラジロベッコウ（宇賀湯玉鳥井ケ峠） [S.b.: 5.2 mm]；7a–c. コベソマイマイ（室津上椿原） [S.b.: 18.5 mm]；8a–c. ウスカワマイマイ（吉永北無田） [S.b.: 11 mm].

図版VII (Plate VII)



1a–c. タキカワオオベソマイマイ（本郷下下峠） [S.b.: 12 mm]；2a–c. キュウシュウシロマイマイ（室津下） [S.b.: 10.7 mm]；2d–f. キュウシュウシロマイマイ（染め分け型）（鬼ケ城） [S.b.: 10.5 mm]；3a–c. リシケオトメマイマイ近似種（宇賀本郷） [S.b.: 8 mm]；4a–c. コハクオナジマイマイ（室津上） [S.b.: 11.3 mm]；5a–c. ツクシマイマイ（本郷下峠） [S.b.: 29.1 mm]；5d–f. ツクシマイマイ（黒井杜屋） [S.b.: 29.5 mm]；5g–i. ツクシマイマイ（鬼ケ城） [S.b.: 28.5 mm]；6. タワラガイ（鬼ケ城） [S.b.: 2.8 mm].

図版VIII (Plate VIII)

1a–b. ニセマツカサガイ（吉永野田） [S.b.: 23.8 mm]；2a–b. タイワンシジミ（川棚川河口） [S.b.: 5.9 mm]；2c–d. タイワンシジミ（川棚葉中） [S.b.: 6.6 mm]；2e–f. タイワンシジミ（川棚葉中） [S.b.: 7.9 mm]；3a–b. ヤマトシジミ（川棚川河口） [S.b.: 22.2 mm]；4a–b. マシジミ（川棚葉中） [S.b.: 14.9 mm]；4c–d. マシジミ（川棚野田） [吉永野口] [S.b.: 8.9 mm]；5a–b. ドブシジミ（室津上） [S.b.: 5.2 mm].

図版IX (Plate IX)

1. イシマキガイ（室津下）；2. ウスイロオカチグサ（黒井杜屋）；3. ヤマタニシ（川棚越）；4. キュウシュウシロマイマイ（室津下）；5. リシケオトメマイマイ近似種（川棚横道八坂）；6. ヤマナメクジ（宇賀湯玉鯖釣山）；7. チャコウラナメクジ（豊洋台）；8. カワモトギセル（川棚横道八坂）；9. スグヒダギセル（川棚横道八坂）；10. シイボルトコギセル（宇賀湯玉北）.